

改正理由	一部改正	改正 現 行																																																																																							
現 行		改 正		備 考																																																																																					
	<p>4. 浚渫船の運転</p> <p>4-1 浚渫能力(単位時間当り浚渫量)</p> <p>積算の基礎となる浚渫能力は、次式により算出し決定する。なお、1日当りの浚渫船の運転時間は、7時間を標準とする。積算対象となる浚渫土量は、計画浚渫面に対する地山土量とし、浚渫の出来高土量の検収は跡坪による検収を原則とする。ただし、河川及びダム等の施工箇所状況によって河床土砂の移動が甚だしく、浚渫箇所が短期間で埋没し跡坪による検収が困難な場合は、浚渫土量が確実に検収できるよう種々対策を講じたうえで、その土量をもって浚渫土量とする。</p> <p>余容量は、契約対象土量とはしないが、浚渫取扱土量中に含め積算の対象とする。</p> <p>$Q=45.5q \times \alpha \times E \cdots \cdots$式4.1</p> <p>Q：バックホウ浚渫船1時間当り浚渫量 (m³/h)</p> <p>q：バックホウバケット容積 (m³)</p> <p>α：土質係数</p> <p>E：作業係数</p> <p>表4.1 土質係数α</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">土 質</th> <th rowspan="2">N 値</th> <th rowspan="2">係 数</th> </tr> <tr> <th>分 類</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粘 性 土</td> <td></td> <td>10未満</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>砂 質 土 及 び 砂</td> <td></td> <td>10~30未満</td> <td>0.68</td> </tr> <tr> <td>レ キ 質 土</td> <td></td> <td>30~50未満</td> <td>0.56</td> </tr> </tbody> </table> <p>表4.2 作業係数E</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>係 数</th> <th>作業係数適用条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.00</td> <td>平均土厚が1mを超え、かつ浚渫区域が連続している工事</td> </tr> <tr> <td>0.82</td> <td>平均土厚が1m以下、又は浚渫区域が点在している工事</td> </tr> <tr> <td>0.70</td> <td>平均土厚が1m以下、かつ浚渫区域が点在している工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 平均土厚には、余容量が含まれる。</p> <p>4-2 浚渫船運転労務費</p> <p>(1) 編成人員</p> <p>浚渫作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p>表4.3 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>高級船員</th> <th>普通船員</th> <th>運転手(特殊)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ浚渫船 D1.0m²及びD2.0m²</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 休転日数と運転日数</p> <p>浚渫期間中における、浚渫船の休転日は、次表のとおりとする。</p> <p>月間計画浚渫土量並びに計画浚渫期間を決定する際に、次表の休転日数以外を月間運転日数とする。</p> <p>表4.4 バックホウ浚渫船の1箇月当り休転日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>休転日種別</th> <th>休 転 日 数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>1</td> <td>浚渫船等の修理等のための休転日</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>8</td> <td>休日のための休転日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ただし、出水期等による特殊事情がある場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">III-1-④-24</p>	土 質		N 値	係 数	分 類		粘 性 土		10未満	1.00	砂 質 土 及 び 砂		10~30未満	0.68	レ キ 質 土		30~50未満	0.56	係 数	作業係数適用条件	1.00	平均土厚が1mを超え、かつ浚渫区域が連続している工事	0.82	平均土厚が1m以下、又は浚渫区域が点在している工事	0.70	平均土厚が1m以下、かつ浚渫区域が点在している工事	作業種別	高級船員	普通船員	運転手(特殊)	バックホウ浚渫船 D1.0m ² 及びD2.0m ²	1	2	1	休転日種別	休 転 日 数	備 考	A	1	浚渫船等の修理等のための休転日	B	8	休日のための休転日	<p>4. 浚渫船の運転</p> <p>4-1 浚渫能力(単位時間当り浚渫量)</p> <p>積算の基礎となる浚渫能力は、次式により算出し決定する。なお、1日当りの浚渫船の運転時間は、7時間を標準とする。積算対象となる浚渫土量は、計画浚渫面に対する地山土量とし、浚渫の出来高土量の検収は跡坪による検収を原則とする。ただし、河川及びの施工箇所状況によって河床土砂の移動が甚だしく、浚渫箇所が短期間で埋没し跡坪による検収が困難な場合は、浚渫土量が確実に検収できるよう種々対策を講じたうえで、その土量をもって浚渫土量とする。</p> <p>余容量は、契約対象土量とはしないが、浚渫取扱土量中に含め積算の対象とする。</p> <p>$Q=45.5q \times \alpha \times E \cdots \cdots$式4.1</p> <p>Q：バックホウ浚渫船1時間当り浚渫量 (m³/h)</p> <p>q：バックホウバケット容積 (m³)</p> <p>α：土質係数</p> <p>E：作業係数</p> <p>表4.1 土質係数α</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">土 質</th> <th rowspan="2">N 値</th> <th rowspan="2">係 数</th> </tr> <tr> <th>分 類</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粘 性 土</td> <td></td> <td>10未満</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>砂 質 土 及 び 砂</td> <td></td> <td>10以上~30未満</td> <td>0.68</td> </tr> <tr> <td>レ キ 質 土</td> <td></td> <td>30以上~50未満</td> <td>0.56</td> </tr> </tbody> </table> <p>表4.2 作業係数E</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>係 数</th> <th>作業係数適用条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.00</td> <td>平均土厚が1mを超え、かつ浚渫区域が連続している工事</td> </tr> <tr> <td>0.82</td> <td>平均土厚が1m以下、又は浚渫区域が点在している工事</td> </tr> <tr> <td>0.70</td> <td>平均土厚が1m以下、かつ浚渫区域が点在している工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 平均土厚には、余容量が含まれる。</p> <p>4-2 バックホウ浚渫船運転労務費</p> <p>(1) 編成人員</p> <p>浚渫作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p>表4.3 日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>高級船員</th> <th>普通船員</th> <th>運転手(特殊)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ浚渫船</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 休転日数と運転日数</p> <p>浚渫期間中における、バックホウ浚渫船の1箇月当り休転日は、次表のとおりとする。</p> <p>月間計画浚渫土量並びに計画浚渫期間を決定する際に、次表の休転日数以外を月間運転日数とする。</p> <p>表4.4 バックホウ浚渫船の1箇月当り休転日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>休転日種別</th> <th>休 転 日 数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>1</td> <td>浚渫船等の修理等のための休転日</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>8</td> <td>休日のための休転日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ただし、出水期等による特殊事情がある場合は、別途考慮する。</p>	土 質		N 値	係 数	分 類		粘 性 土		10未満	1.00	砂 質 土 及 び 砂		10以上~30未満	0.68	レ キ 質 土		30以上~50未満	0.56	係 数	作業係数適用条件	1.00	平均土厚が1mを超え、かつ浚渫区域が連続している工事	0.82	平均土厚が1m以下、又は浚渫区域が点在している工事	0.70	平均土厚が1m以下、かつ浚渫区域が点在している工事	作業種別	高級船員	普通船員	運転手(特殊)	バックホウ浚渫船	1	2	1	休転日種別	休 転 日 数	備 考	A	1	浚渫船等の修理等のための休転日	B	8	休日のための休転日	<p style="text-align: center;">記載の変更</p>
土 質		N 値	係 数																																																																																						
分 類																																																																																									
粘 性 土		10未満	1.00																																																																																						
砂 質 土 及 び 砂		10~30未満	0.68																																																																																						
レ キ 質 土		30~50未満	0.56																																																																																						
係 数	作業係数適用条件																																																																																								
1.00	平均土厚が1mを超え、かつ浚渫区域が連続している工事																																																																																								
0.82	平均土厚が1m以下、又は浚渫区域が点在している工事																																																																																								
0.70	平均土厚が1m以下、かつ浚渫区域が点在している工事																																																																																								
作業種別	高級船員	普通船員	運転手(特殊)																																																																																						
バックホウ浚渫船 D1.0m ² 及びD2.0m ²	1	2	1																																																																																						
休転日種別	休 転 日 数	備 考																																																																																							
A	1	浚渫船等の修理等のための休転日																																																																																							
B	8	休日のための休転日																																																																																							
土 質		N 値	係 数																																																																																						
分 類																																																																																									
粘 性 土		10未満	1.00																																																																																						
砂 質 土 及 び 砂		10以上~30未満	0.68																																																																																						
レ キ 質 土		30以上~50未満	0.56																																																																																						
係 数	作業係数適用条件																																																																																								
1.00	平均土厚が1mを超え、かつ浚渫区域が連続している工事																																																																																								
0.82	平均土厚が1m以下、又は浚渫区域が点在している工事																																																																																								
0.70	平均土厚が1m以下、かつ浚渫区域が点在している工事																																																																																								
作業種別	高級船員	普通船員	運転手(特殊)																																																																																						
バックホウ浚渫船	1	2	1																																																																																						
休転日種別	休 転 日 数	備 考																																																																																							
A	1	浚渫船等の修理等のための休転日																																																																																							
B	8	休日のための休転日																																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 2/7																																																																																						

工 種	浚渫工(バックホウ浚渫船)
-----	---------------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 <hr/> 現 行	備 考																																																																																																													
現	行	改 正	備 考																																																																																																													
<p>4-3 繋船費 繋船費は、共通仮設費の準備費で、下記により積上げ計上する。 浚渫船の休転日(A)における乗務員の労務費及び、次表に示す運転準備期間及び後片付け期間の乗務員の労務費を計上する。なお、休転日(B)については積上げの対象とはせず、また乗務員数は、表4.3に示す職種及び人員とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表4.5 運転準備及び後片付け期間</caption> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">日 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運 転 準 備 期 間</td> <td style="text-align: center;">2 (5)</td> </tr> <tr> <td>後 片 付 け 期 間</td> <td style="text-align: center;">2 (5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 汚濁防止フェンス設置時は、()内とする。</p> <p>4-4 作業船運転費 作業現場内の風浪出水時における退避、繋留等の作業が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>4-5 土運船運転費 バックホウ浚渫船より掘削した土砂を、土運船で陰揚げ場まで運搬又は海上処分場まで運搬するのに要する費用である。 (1) 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表4.6 機種の選定</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業種別</th> <th colspan="3">土 運 船</th> <th colspan="3">引 船</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日当り平均浚渫量 215m³以下</td> <td>密閉式 100m³積</td> <td>隻</td> <td>2</td> <td>鋼製 D 300PS 型 25GT</td> <td>隻</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1日当り平均浚渫量 216m³以上645m³以下</td> <td>密閉式 300m³積</td> <td>"</td> <td>2</td> <td>鋼製 D 500PS 型 40GT</td> <td>"</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 海上処分場への捨て土の場合、土運船の規格は「開閉式」に読み替える。</p> <p>(2) 編成人員 土運船及び引船の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表4.7 日当り編成人員 (人)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業種別</th> <th colspan="2">土 運 船</th> <th colspan="2">引 船</th> </tr> <tr> <th>普 通 船 員</th> <th>高 級 船 員</th> <th>普 通 船 員</th> <th>普 通 船 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日当り平均浚渫量 215m³以下</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>1日当り平均浚渫量 216m³以上645m³以下</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 浚渫土運搬作業日数 土運船による浚渫土の運搬作業日数は、浚渫作業日数を計上するものとする。なお、運搬作業1日当り作業内容は、次のとおりである。 ① 浚渫船からの浚渫土積込時間 ② 運搬・回送時間 ③ 浚渫土の積卸時間 ④ 土運船段取替え時間 なお、運搬・回送距離は35km(片道)まで含むものとし、これを超える場合は別途考慮する。</p>		日 数	運 転 準 備 期 間	2 (5)	後 片 付 け 期 間	2 (5)	作業種別	土 運 船			引 船			摘要	規 格	単 位	数 量	規 格	単 位	数 量	1日当り平均浚渫量 215m ³ 以下	密閉式 100m ³ 積	隻	2	鋼製 D 300PS 型 25GT	隻	2		1日当り平均浚渫量 216m ³ 以上645m ³ 以下	密閉式 300m ³ 積	"	2	鋼製 D 500PS 型 40GT	"	2		作業種別	土 運 船		引 船		普 通 船 員	高 級 船 員	普 通 船 員	普 通 船 員	1日当り平均浚渫量 215m ³ 以下	2	2	—	—	1日当り平均浚渫量 216m ³ 以上645m ³ 以下	2	2	2	—	<p>4-3 繋船費 繋船費は、共通仮設費の準備費で、下記により積上げ計上する。 浚渫船の休転日(A)における乗務員の労務費及び、次表に示す運転準備期間及び後片付け期間の乗務員の労務費を計上する。なお、休転日(B)については積上げの対象とはせず、また乗務員数は、表4.3に示す職種及び人員とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表4.5 運転準備及び後片付け期間</caption> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">日 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運 転 準 備 期 間</td> <td style="text-align: center;">2 (5)</td> </tr> <tr> <td>後 片 付 け 期 間</td> <td style="text-align: center;">2 (5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 汚濁防止フェンス設置時は、()内の日数とする。</p> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p> <p>4-5 土運船運転費 バックホウ浚渫船より掘削した土砂を、土運船で陰揚げ場まで運搬又は海上処分場まで運搬するのに要する費用である。 (1) 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表4.6 機種の選定</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業種別</th> <th colspan="3">土 運 船</th> <th colspan="3">引 船</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日当り平均浚渫量 215m³以下</td> <td>密閉式 100m³積</td> <td>隻</td> <td>2</td> <td>鋼製 D 300PS 型 25GT</td> <td>隻</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1日当り平均浚渫量 215m³を超え216m³以上645m³以下</td> <td>密閉式 300m³積</td> <td>"</td> <td>2</td> <td>鋼製 D 500PS 型 40GT</td> <td>"</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 海上処分場への捨て土の場合、土運船の規格は「開閉式」に読み替える。</p> <p>(2) 編成人員 土運船及び引船の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表4.7 日当り編成人員 (人/日)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業種別</th> <th colspan="2">土 運 船</th> <th colspan="2">引 船</th> </tr> <tr> <th>普 通 船 員</th> <th>高 級 船 員</th> <th>普 通 船 員</th> <th>普 通 船 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日当り平均浚渫量 215m³以下</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>1日当り平均浚渫量 215m³を超え216m³以上645m³以下</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 浚渫土運搬作業日数 土運船による浚渫土の運搬作業日数は、浚渫作業日数を計上するものとする。また、運搬作業1日当り作業内容は、次のとおりである。 ① 浚渫船からの浚渫土積込時間 ② 運搬・回送時間 ③ 浚渫土の積卸時間 ④ 土運船段取替時間 なお、運搬・回送距離は35km(片道)まで含むものとし、これを超える場合は別途考慮する。</p>		日 数	運 転 準 備 期 間	2 (5)	後 片 付 け 期 間	2 (5)	作業種別	土 運 船			引 船			摘要	規 格	単 位	数 量	規 格	単 位	数 量	1日当り平均浚渫量 215m ³ 以下	密閉式 100m ³ 積	隻	2	鋼製 D 300PS 型 25GT	隻	2		1日当り平均浚渫量 215m³を超え 216m ³ 以上645m ³ 以下	密閉式 300m ³ 積	"	2	鋼製 D 500PS 型 40GT	"	2		作業種別	土 運 船		引 船		普 通 船 員	高 級 船 員	普 通 船 員	普 通 船 員	1日当り平均浚渫量 215m ³ 以下	2	2	—	—	1日当り平均浚渫量 215m³を超え 216m ³ 以上645m ³ 以下	2	2	2	2	記載の変更
	日 数																																																																																																															
運 転 準 備 期 間	2 (5)																																																																																																															
後 片 付 け 期 間	2 (5)																																																																																																															
作業種別	土 運 船			引 船			摘要																																																																																																									
	規 格	単 位	数 量	規 格	単 位	数 量																																																																																																										
1日当り平均浚渫量 215m ³ 以下	密閉式 100m ³ 積	隻	2	鋼製 D 300PS 型 25GT	隻	2																																																																																																										
1日当り平均浚渫量 216m ³ 以上645m ³ 以下	密閉式 300m ³ 積	"	2	鋼製 D 500PS 型 40GT	"	2																																																																																																										
作業種別	土 運 船		引 船																																																																																																													
	普 通 船 員	高 級 船 員	普 通 船 員	普 通 船 員																																																																																																												
1日当り平均浚渫量 215m ³ 以下	2	2	—	—																																																																																																												
1日当り平均浚渫量 216m ³ 以上645m ³ 以下	2	2	2	—																																																																																																												
	日 数																																																																																																															
運 転 準 備 期 間	2 (5)																																																																																																															
後 片 付 け 期 間	2 (5)																																																																																																															
作業種別	土 運 船			引 船			摘要																																																																																																									
	規 格	単 位	数 量	規 格	単 位	数 量																																																																																																										
1日当り平均浚渫量 215m ³ 以下	密閉式 100m ³ 積	隻	2	鋼製 D 300PS 型 25GT	隻	2																																																																																																										
1日当り平均浚渫量 215m³を超え 216m ³ 以上645m ³ 以下	密閉式 300m ³ 積	"	2	鋼製 D 500PS 型 40GT	"	2																																																																																																										
作業種別	土 運 船		引 船																																																																																																													
	普 通 船 員	高 級 船 員	普 通 船 員	普 通 船 員																																																																																																												
1日当り平均浚渫量 215m ³ 以下	2	2	—	—																																																																																																												
1日当り平均浚渫量 215m³を超え 216m ³ 以上645m ³ 以下	2	2	2	2																																																																																																												
III-1-④-25			(控え頁)																																																																																																													
積算上の注意事項			3/7																																																																																																													

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																															
現	行	改 正	備 考																															
<p>4-6 浚渫土揚土費 土運船によって運搬された浚渫土のダンプトラックへの積込み又は仮置き作業に要する費用である。 (1) 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.8 機種を選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日当り平均浚渫量 365m³以下</td> <td rowspan="2">バックホウ (クローラ型)</td> <td rowspan="2">標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1日当り平均浚渫量 366m³以上645m³以下</td> <td>#</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 浚渫土揚土作業日数 浚渫土の揚土作業日数は、浚渫作業日数を計上するものとする。</p> <p>4-7 ダンプトラック運搬費 処分地への浚渫土運搬に要する費用であり、「第II編第1章②土工(施工パッケージ)3-2 土砂等運搬」により別途計上する。</p> <p>5. 回航費並びに運搬費 回航費は、浚渫船の回航、又は、本船解体及び工事用仮設材の運搬に要する費用で、それぞれ必要に応じて共通仮設費の運搬費として積上げ計上する。</p> <p>6. 雑 工 事 費 (1) 出水期における浚渫船の安全対策が必要な場合は、河川及びダム状況により繋留設備、又は待避溝の設置を見込むとともに浚渫船待避に要する費用を計上する。 (2) その他、浚渫工事に伴う雑工事が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>7. 汚濁防止フェンス 汚濁防止フェンス設置・撤去は「第II編第5章②汚濁防止フェンス工」により別途計上する。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	1日当り平均浚渫量 365m ³ 以下	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	台	1		1日当り平均浚渫量 366m ³ 以上645m ³ 以下	#	2		<p>4-6 浚渫土揚土費 土運船によって運搬された浚渫土のダンプトラックへの積込み又は仮置き作業に要する費用である。 (1) 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.8 機種を選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日当り平均浚渫量 365m³以下</td> <td rowspan="2">バックホウ (クローラ型)</td> <td rowspan="2">標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1日当り平均浚渫量 365m³を越え366m³以下</td> <td>#</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 浚渫土揚土作業日数 浚渫土の揚土作業日数は、浚渫作業日数を計上するものとする。</p> <p>4-7 ダンプトラック運搬費 処分地への浚渫土運搬に要する費用であり、「第II編第1章②-1土工(施工パッケージ)3-2 土砂等運搬」により別途計上する。</p> <p>5. 回航費並びに運搬費 回航費は、浚渫船の回航、又は、本船解体及び工事用仮設材の運搬に要する費用で、それぞれ必要に応じて共通仮設費の運搬費として積上げ計上する。</p> <p>6. 雑 工 事 費 (1) 出水期における浚渫船の安全対策が必要な場合は、河川及びダムの状況により繋留設備、又は待避溝の設置を見込むとともに浚渫船待避に要する費用を別途計上する。 (2) その他、浚渫工事に伴う雑工事が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>7. 汚濁防止フェンス 汚濁防止フェンス設置・撤去は「第II編第5章②汚濁防止フェンス工」により別途計上する。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	1日当り平均浚渫量 365m ³ 以下	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	台	1		1日当り平均浚渫量 365m³ を越え 366m³ 以下	#	2		記載の変更
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																													
1日当り平均浚渫量 365m ³ 以下	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	台	1																														
1日当り平均浚渫量 366m ³ 以上645m ³ 以下			#	2																														
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																													
1日当り平均浚渫量 365m ³ 以下	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	台	1																														
1日当り平均浚渫量 365m³ を越え 366m³ 以下			#	2																														
III-1-④-26																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 4/7																															

工 種	浚渫工(バックホウ浚渫船)
-----	---------------

改正理由	一部改正	改正 現 行	
------	------	-----------	--

現	行	改	正	備 考
---	---	---	---	-----

8. 単 価 表

(1) 浚渫船 (〇〇m³) 運転1日当り単価表

施工歩掛コード	WB311210
---------	----------

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
高級船員		人	1	表4.3
普通船員		人	2	〃
運転手(特殊)		人	1	〃
バックホウ浚渫船運転	D 〇〇m ³	日	1	機械損料
汚濁防止枠		供用日	1.51	必要に応じて計上 機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(2) 繋船費1日当り単価表

施工歩掛コード	WB311220
---------	----------

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
高級船員		人	1	表4.3
普通船員		人	2	〃
運転手(特殊)		人	1	〃
諸 雑 費		式	1	
計				

(3) 土運船 (〇〇〇m³積) 運転1日当り単価表

施工歩掛コード	WB311230
---------	----------

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
高級船員		人		表4.7
普通船員		人		〃
引 船 運 転	鋼製 D 〇〇〇PS型 〇〇GT	日		表4.6、表4.7 機械損料
土 運 船	〇〇式 〇〇〇m ³ 積	供用日		表4.6、表4.7 日当り機械損料に 機械損料数量を乗 じて計上する。 【指定事項】 機械損料数量×1.50
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) 1. 海上処分場への捨て土の場合、土運船の規格は「開閉式」に読み替える。
2. 日当り機械損料に機械損料数量を乗じて計上する。

(4) 浚渫土揚土1日当り単価表

施工歩掛コード	WB311240
---------	----------

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
バックホウ (クローラ型)運転	標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.4m ³ (早積1.0m ³)	日		表4.8 機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

III-1-④-27

8. 単 価 表

(1) バックホウ浚渫船 (〇〇m³) 運転1日当り単価表

施工歩掛コード	WB311210
---------	----------

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
高級船員		人	1	表4.3
普通船員		人	2	〃
運転手(特殊)		人	1	〃
バックホウ浚渫船運転	D 〇〇m ³	日	1	機械損料
汚濁防止枠		供用日	1.51	必要に応じて計上 機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) 汚濁防止枠は別途計上する。

(2) 繋船費1日当り単価表

施工歩掛コード	WB311220
---------	----------

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
高級船員		人	1	表4.3
普通船員		人	2	〃
運転手(特殊)		人	1	〃
諸 雑 費		式	1	
計				

(3) 土運船 (〇〇〇m³積) 運転1日当り単価表

施工歩掛コード	WB311230
---------	----------

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
高級船員		人		表4.7
普通船員		人		〃
引 船 運 転	鋼製 D 〇〇〇PS型 〇〇GT	日		表4.6、表4.7 機械損料
土 運 船	〇〇式 〇〇〇m ³ 積	供用日		表4.6、表4.7 日当り機械損料に 機械損料数量を乗 じて計上する。(注) 5 【指定事項】 機械損料数量×1.50
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) 1. 海上処分場への捨て土の場合、土運船の規格は「開閉式」に読み替える。
2. 日当り機械損料に機械損料数量を乗じて計上する。

(4) 浚渫土揚土1日当り単価表

施工歩掛コード	WB311240
---------	----------

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
バックホウ (クローラ型)運転	標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) (2011年規制) 山積1.4m ³ (早積1.0m ³)	日		表4.8 機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

記載の変更

積算上の注意事項		(控え頁) 5/7
----------	--	--------------

工 種	浚渫工(バックホウ浚渫船)
-----	---------------

改正理由	一部改正		改正	備考																																									
	現 行		改 正																																										
	<p>(5) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">バックホウ浚渫船</td> <td>D 1.0m³</td> <td rowspan="2">機-24</td> <td>燃料消費量→252 機械損料数量→ 1.51</td> </tr> <tr> <td>D 2.0m³</td> <td>燃料消費量→371 機械損料数量→ 1.51</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">引 船</td> <td>鋼製 D300PS型 25GT</td> <td rowspan="2">機-24</td> <td>燃料消費量→409 機械損料数量→ 1.50</td> </tr> <tr> <td>鋼製 D500PS型 40GT</td> <td>燃料消費量→679 機械損料数量→ 1.50</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>機-18</td> <td>機械労務数量→ 1.00 燃料消費量→150 機械損料数量→ 1.50</td> </tr> </tbody> </table>		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ浚渫船	D 1.0m ³	機-24	燃料消費量→252 機械損料数量→ 1.51	D 2.0m ³	燃料消費量→371 機械損料数量→ 1.51	引 船	鋼製 D300PS型 25GT	機-24	燃料消費量→409 機械損料数量→ 1.50	鋼製 D500PS型 40GT	燃料消費量→679 機械損料数量→ 1.50	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	機-18	機械労務数量→ 1.00 燃料消費量→150 機械損料数量→ 1.50	<p>(5) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">バックホウ浚渫船</td> <td>D 1.0m³</td> <td rowspan="2">機-24</td> <td>燃料消費量→252 287 機械損料数量→ 1.51</td> </tr> <tr> <td>D 2.0m³</td> <td>燃料消費量→371 413 機械損料数量→ 1.51</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">引 船</td> <td>鋼製 D300PS型 25GT</td> <td rowspan="2">機-24</td> <td>燃料消費量→409 機械損料数量→ 1.50</td> </tr> <tr> <td>鋼製 D500PS型 40GT</td> <td>燃料消費量→679 機械損料数量→ 1.50</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) (2011年以降) 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>機-18</td> <td>機械労務数量→ 1.00 燃料消費量→150 144 機械損料数量→ 1.50</td> </tr> </tbody> </table>		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ浚渫船	D 1.0m ³	機-24	燃料消費量→ 252 287 機械損料数量→ 1.51	D 2.0m ³	燃料消費量→ 371 413 機械損料数量→ 1.51	引 船	鋼製 D300PS型 25GT	機-24	燃料消費量→409 機械損料数量→ 1.50	鋼製 D500PS型 40GT	燃料消費量→679 機械損料数量→ 1.50	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) (2011年以降) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	機-18	機械労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 150 144 機械損料数量→ 1.50	記載の変更
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																										
バックホウ浚渫船	D 1.0m ³	機-24	燃料消費量→252 機械損料数量→ 1.51																																										
	D 2.0m ³		燃料消費量→371 機械損料数量→ 1.51																																										
引 船	鋼製 D300PS型 25GT	機-24	燃料消費量→409 機械損料数量→ 1.50																																										
	鋼製 D500PS型 40GT		燃料消費量→679 機械損料数量→ 1.50																																										
バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	機-18	機械労務数量→ 1.00 燃料消費量→150 機械損料数量→ 1.50																																										
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																										
バックホウ浚渫船	D 1.0m ³	機-24	燃料消費量→ 252 287 機械損料数量→ 1.51																																										
	D 2.0m ³		燃料消費量→ 371 413 機械損料数量→ 1.51																																										
引 船	鋼製 D300PS型 25GT	機-24	燃料消費量→409 機械損料数量→ 1.50																																										
	鋼製 D500PS型 40GT		燃料消費量→679 機械損料数量→ 1.50																																										
バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) (2011年以降) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	機-18	機械労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 150 144 機械損料数量→ 1.50																																										
積算上の注意事項	III-1-④-28		(控え頁) 6/7																																										

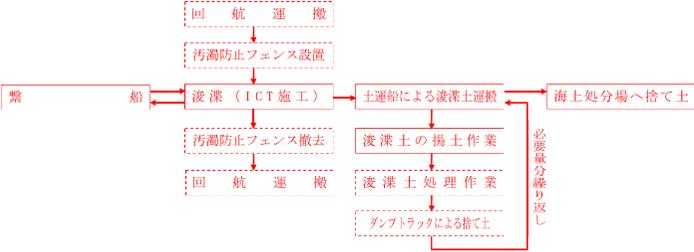
改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																																																																																																				
	<p>現 行</p> <p>9. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 浚渫船運転費</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB311210</td> <td>施工単位</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>浚渫船規格 ①D 1.0m³</td> <td colspan="2">汚濁防止枠の有無 ①有</td> </tr> <tr> <td>②D 2.0m³</td> <td colspan="2">②無</td> </tr> </table> <p>(2) 繋船費</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB311220</td> <td>施工単位</td> <td>日</td> </tr> </table> <p>(注) 共通仮設費の準備費として積算する。</p> <p>(3) 土運船運搬費</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB311230</td> <td>施工単位</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>1日当り 平均浚渫量 (表9.1)</td> <td colspan="2">土運船規格 ①密閉式 ②開閉式</td> </tr> </table> <p>表9.1 1日当り平均浚渫量</p> <table border="1"> <tr> <td>規 格</td> <td>入力番号</td> </tr> <tr> <td>215m³以下</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>216m³以上645m³以下</td> <td>②</td> </tr> </table> <p>(4) 浚渫土揚土費</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB311240</td> <td>施工単位</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td colspan="3">J 1</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1日当り 平均浚渫量 (表9.2)</td> </tr> </table> <p>表9.2 1日当り平均浚渫量</p> <table border="1"> <tr> <td>規 格</td> <td>入力番号</td> </tr> <tr> <td>365m³以下</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>366m³以上645m³以下</td> <td>②</td> </tr> </table> <p>III-1-④-29</p>	施工歩掛コード	WB311210	施工単位	日	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		浚渫船規格 ①D 1.0m ³	汚濁防止枠の有無 ①有		②D 2.0m ³	②無		施工歩掛コード	WB311220	施工単位	日	施工歩掛コード	WB311230	施工単位	日	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		1日当り 平均浚渫量 (表9.1)	土運船規格 ①密閉式 ②開閉式		規 格	入力番号	215m ³ 以下	①	216m ³ 以上645m ³ 以下	②	施工歩掛コード	WB311240	施工単位	日	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1			1日当り 平均浚渫量 (表9.2)			規 格	入力番号	365m ³ 以下	①	366m ³ 以上645m ³ 以下	②	<p>改 正</p> <p>現 行</p> <p>9. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) バックホウ浚渫船運転費</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB311210</td> <td>施工単位</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>浚渫船規格 ①D 1.0m³</td> <td colspan="2">汚濁防止枠の有無 ①有</td> </tr> <tr> <td>②D 2.0m³</td> <td colspan="2">②無</td> </tr> </table> <p>(2) 繋船費</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB311220</td> <td>施工単位</td> <td>日</td> </tr> </table> <p>(注) 共通仮設費の準備費として積算する。</p> <p>(3) 土運船運搬費</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB311230</td> <td>施工単位</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>1日当り 平均浚渫量 (表9.1)</td> <td colspan="2">土運船規格 ①密閉式 ②開閉式</td> </tr> </table> <p>表9.1 1日当り平均浚渫量</p> <table border="1"> <tr> <td>規 格</td> <td>入力番号</td> </tr> <tr> <td>1日当り平均浚渫量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>215m³以下</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>2156m³を超え以上645m³以下</td> <td>②</td> </tr> </table> <p>(4) 浚渫土揚土費</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB311240</td> <td>施工単位</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td colspan="3">J 1</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1日当り 平均浚渫量 (表9.2)</td> </tr> </table> <p>表9.2 1日当り平均浚渫量</p> <table border="1"> <tr> <td>規 格</td> <td>入力番号</td> </tr> <tr> <td>1日当り平均浚渫量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>365m³以下</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>3656m³を超え以上645m³以下</td> <td>②</td> </tr> </table> <p>記載の変更</p>	施工歩掛コード	WB311210	施工単位	日	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		浚渫船規格 ①D 1.0m ³	汚濁防止枠の有無 ①有		②D 2.0m ³	②無		施工歩掛コード	WB311220	施工単位	日	施工歩掛コード	WB311230	施工単位	日	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		1日当り 平均浚渫量 (表9.1)	土運船規格 ①密閉式 ②開閉式		規 格	入力番号	1日当り平均浚渫量		215m ³ 以下	①	2156m ³ を超え以上645m ³ 以下	②	施工歩掛コード	WB311240	施工単位	日	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1			1日当り 平均浚渫量 (表9.2)			規 格	入力番号	1日当り平均浚渫量		365m ³ 以下	①	3656m ³ を超え以上645m ³ 以下	②	<p>(控え頁)</p> <p>7/7</p>
施工歩掛コード	WB311210	施工単位	日																																																																																																																																				
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																						
各 種	J 1	J 2																																																																																																																																					
	浚渫船規格 ①D 1.0m ³	汚濁防止枠の有無 ①有																																																																																																																																					
	②D 2.0m ³	②無																																																																																																																																					
施工歩掛コード	WB311220	施工単位	日																																																																																																																																				
施工歩掛コード	WB311230	施工単位	日																																																																																																																																				
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																						
各 種	J 1	J 2																																																																																																																																					
	1日当り 平均浚渫量 (表9.1)	土運船規格 ①密閉式 ②開閉式																																																																																																																																					
	規 格	入力番号																																																																																																																																					
215m ³ 以下	①																																																																																																																																						
216m ³ 以上645m ³ 以下	②																																																																																																																																						
施工歩掛コード	WB311240	施工単位	日																																																																																																																																				
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																						
各 種	J 1																																																																																																																																						
	1日当り 平均浚渫量 (表9.2)																																																																																																																																						
規 格	入力番号																																																																																																																																						
365m ³ 以下	①																																																																																																																																						
366m ³ 以上645m ³ 以下	②																																																																																																																																						
施工歩掛コード	WB311210	施工単位	日																																																																																																																																				
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																						
各 種	J 1	J 2																																																																																																																																					
	浚渫船規格 ①D 1.0m ³	汚濁防止枠の有無 ①有																																																																																																																																					
	②D 2.0m ³	②無																																																																																																																																					
施工歩掛コード	WB311220	施工単位	日																																																																																																																																				
施工歩掛コード	WB311230	施工単位	日																																																																																																																																				
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																						
各 種	J 1	J 2																																																																																																																																					
	1日当り 平均浚渫量 (表9.1)	土運船規格 ①密閉式 ②開閉式																																																																																																																																					
	規 格	入力番号																																																																																																																																					
1日当り平均浚渫量																																																																																																																																							
215m ³ 以下	①																																																																																																																																						
2156m ³ を超え以上645m ³ 以下	②																																																																																																																																						
施工歩掛コード	WB311240	施工単位	日																																																																																																																																				
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																						
各 種	J 1																																																																																																																																						
	1日当り 平均浚渫量 (表9.2)																																																																																																																																						
規 格	入力番号																																																																																																																																						
1日当り平均浚渫量																																																																																																																																							
365m ³ 以下	①																																																																																																																																						
3656m ³ を超え以上645m ³ 以下	②																																																																																																																																						
積算上の注意事項																																																																																																																																							

工 種	浚渫工(バックホウ浚渫船)(ICT)
-----	--------------------

改正理由	新規	改正 現行	
現行	<p style="text-align: center;">現行なし</p>	<p style="text-align: center;">備考</p>	
積算上の注意事項		<p style="text-align: right;">(控え頁)</p> <p style="text-align: right;">1/5</p>	

④-3 バックホウ浚渫船(ICT)

1. 適用範囲
本資料は、河川におけるバックホウ浚渫船(ICT)による浚渫工の施工に適用する。また、適用する土質は、粘性土、砂質土及び砂、レキ質土等とする。
2. 施工概要
バックホウ浚渫船(ICT)は、スバッド付台船等に搭載されたバックホウ(ICT)にて、河床等の土砂を掘削し、土運船等にて土砂の運搬を行う。
施工フローは、下記を標準とする。



- (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。
2. 汚濁防止フェンス又は汚濁防止柵及び汚濁防止膜については、掘削時に濁水の拡散により、水質等の影響がある場合に、別途計上する。
3. 浚渫土処理作業については、浚渫土の処理時に発生する余水処理や運搬及び浚渫土の再利用時の固化処理であり、必要な場合は別途計上する。
4. 本歩掛には、浚渫作業中の浚渫船の引船運転を含む。

図2-1 施工フロー

3. 機種選定
機種・規格は、次表を標準とする。ただし、規格を選定する際には、以下の項目を考慮し、決定するものとする。
(1) 浚渫深度(表3.1 摘要参照)
(2) 施工数量、工期、運転時間、土捨場の受入れ土量等

表3.1 機種選定

機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要
バックホウ浚渫船 (ICT)	D 1.0m ²	隻	1	標準最大作業水深4m
	D 2.0m ²	#	1	標準最大作業水深6m

(注) 現場条件(現場の広さ、機械の搬入条件)により、上表より難しい場合は、別途考慮する。

工 種	浚渫工(バックホウ浚渫船) (ICT)
-----	---------------------

改正理由	新規	改正 現行																																				
現行	改 正	備 考																																				
現行なし	<p>4. 浚渫船の運転</p> <p>4-1 浚渫能力(単位時間当り浚渫量)</p> <p>積算の基礎となる浚渫能力は、次式により算出し決定する。なお、1日当りの浚渫船の運転時間は、7時間を標準とする。積算対象となる浚渫土量は、計画浚渫面に対する地山土量とし、浚渫の出来高土量の検収は跡坪による検収を原則とする。ただし、河川の施工箇所状況によって河床土砂の移動が甚だしく、浚渫箇所が短時間で埋没し跡坪による検収が困難な場合は、浚渫土量が確実に検収できるよう種々対策を講じたうえ、その土量をもって浚渫土量とする。</p> <p>余剰量は、契約対象土量とはしないが、浚渫取扱土量中に含め積算の対象とする。</p> <p>$Q=47.8q \times a \times E$ ……式4.1</p> <p>Q:バックホウ浚渫船(ICT)1時間当り浚渫量(m³/h)</p> <p>q:バックホウバケット容積(m³)</p> <p>a:土質係数</p> <p>E:作業係数</p> <p>表4.1 土質係数α</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">土 質</th> <th rowspan="2">係 数</th> </tr> <tr> <th>分 類</th> <th>N 値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">粘 性 土</td> <td>10未満</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>10以上30未満</td> <td>0.68</td> </tr> <tr> <td>砂 質 土 及 び 砂</td> <td>30以上50未満</td> <td>0.56</td> </tr> </tbody> </table> <p>表4.2 作業係数E</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>係 数</th> <th>作業係数適用条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.00</td> <td>平均土厚が1mを超え、かつ浚渫区域が連続している工事</td> </tr> <tr> <td>0.82</td> <td>平均土厚が1m以下、又は浚渫区域が点在している工事</td> </tr> <tr> <td>0.70</td> <td>平均土厚が1m以下、かつ浚渫区域が点在している工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 平均土厚には、余剰厚が含まれる。</p> <p>4-2 バックホウ浚渫船(ICT)運転労務費</p> <p>(1) 編成人員</p> <p>浚渫作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p>表4.3 日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>高 級 船 員</th> <th>普 通 船 員</th> <th>運転手(特殊)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 休憩日数と運転日数</p> <p>浚渫期間中における、バックホウ浚渫船(ICT)の1箇月当り休憩日は、次表のとおりとする。</p> <p>月間計画浚渫土量並びに計画浚渫期間を決定する際に、次表の休憩日数以外を月間運転日数とする。</p> <p>表4.4 バックホウ浚渫船(ICT)の1箇月当り休憩日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>休憩日種別</th> <th>休 暇 日 数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>1</td> <td>浚渫船等の修理等のための休憩日</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>8</td> <td>休日のための休憩日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ただし、出水期等による特殊事情がある場合は、別途考慮する。</p>	土 質		係 数	分 類	N 値	粘 性 土	10未満	1.00	10以上30未満	0.68	砂 質 土 及 び 砂	30以上50未満	0.56	係 数	作業係数適用条件	1.00	平均土厚が1mを超え、かつ浚渫区域が連続している工事	0.82	平均土厚が1m以下、又は浚渫区域が点在している工事	0.70	平均土厚が1m以下、かつ浚渫区域が点在している工事	高 級 船 員	普 通 船 員	運転手(特殊)	1	2	1	休憩日種別	休 暇 日 数	備 考	A	1	浚渫船等の修理等のための休憩日	B	8	休日のための休憩日	新規歩掛
土 質		係 数																																				
分 類	N 値																																					
粘 性 土	10未満	1.00																																				
	10以上30未満	0.68																																				
砂 質 土 及 び 砂	30以上50未満	0.56																																				
係 数	作業係数適用条件																																					
1.00	平均土厚が1mを超え、かつ浚渫区域が連続している工事																																					
0.82	平均土厚が1m以下、又は浚渫区域が点在している工事																																					
0.70	平均土厚が1m以下、かつ浚渫区域が点在している工事																																					
高 級 船 員	普 通 船 員	運転手(特殊)																																				
1	2	1																																				
休憩日種別	休 暇 日 数	備 考																																				
A	1	浚渫船等の修理等のための休憩日																																				
B	8	休日のための休憩日																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 2/5																																			

工 種	浚渫工(バックホウ浚渫船) (ICT)
-----	---------------------

改正理由	新規	改正 現行																	
現 行	改 正		備 考																
<p style="text-align: center;">現行なし</p>	<p>4-3 繋船費 繋船費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚渫船」による。</p> <p>4-4 作業船運転費 作業船運転費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚渫船」による。</p> <p>4-5 土運船運転費 土運船運転費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚渫船」による。</p> <p>4-6 浚渫土揚土費 (ICT) 土運船によって運搬された浚渫土のダンプトラックへの積み込み又は仮置き作業に要する費用である。 (1) 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.5 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="1227 676 1733 759"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日当り平均浚渫量 365m³以下</td> <td rowspan="2">バックホウ (クローラ型)</td> <td rowspan="2">標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m³(半積1.0m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1日当り平均浚渫量 365m³を超え645m³以下</td> <td>n</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 浚渫土揚土作業日数 浚渫土の揚土作業日数は、浚渫作業日数を計上するものとする。</p> <p>4-7 ダンプトラック運搬費 処分地への浚渫土運搬に要する費用であり、「第Ⅱ編第1章②-1土工3-2 土砂等運搬」により別途計上する。</p> <p>5. 回航費並びに運搬費 回航費並びに運搬費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚渫船」による。</p> <p>6. 雑 工 事 費 雑工事費は、「第Ⅲ編第1章④-2バックホウ浚渫船」による。</p> <p>7. 汚濁防止フェンス 汚濁防止フェンス設置・撤去は「第Ⅱ編第5章⑫汚濁防止フェンス工」により別途計上する。</p> <p>8. ICT建設機械経費加算額 8-1 ICT建設機械経費損料加算額 建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用は、以下のとおりとする。 (1) ICT建設機械経費損料加算額(バックホウ浚渫船) 41,000円/日</p> <p>9. その他ICT建設機械経費等 ICT建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。 9-1 保守点検 ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。 (1) バックホウ浚渫船 (ICT) 保守点検費 = 土木一般世話役(円) × 0.05(人/日) × 浚渫作業日数 (注) 浚渫作業日数はICT建機により施工した浚渫作業日数とする。</p>		作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	備 考	1日当り平均浚渫量 365m ³ 以下	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m ³ (半積1.0m ³)	台	1		1日当り平均浚渫量 365m ³ を超え645m ³ 以下	n	2		<p style="text-align: center;">新規歩掛</p>
作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	備 考														
1日当り平均浚渫量 365m ³ 以下	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m ³ (半積1.0m ³)	台	1															
1日当り平均浚渫量 365m ³ を超え645m ³ 以下			n	2															
積算上の注意事項			<p style="text-align: right;">(控え頁) 3/5</p>																

工 種	浚渫工(バックホウ浚渫船)(ICT)
-----	--------------------

改正理由	新規	改正 現行																																																										
現	行	改	正																																																									
備	考																																																											
現行なし	<p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">バックホウ浚渫船 (ICT)</td> <td>D 1.0m³</td> <td rowspan="2">機-35</td> <td>燃料消費量→287</td> </tr> <tr> <td>D 2.0m³</td> <td>機械損料数量→ 1.51</td> </tr> <tr> <td>ICT建設機械経費 損料加算額</td> <td></td> <td></td> <td>燃料消費量→413</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>機械損料数量→ 1.51</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m³(平積1.0m³)</td> <td>機-18</td> <td>機械労務数量→ 1.00 燃料消費量→158 機械損料数量→ 1.50</td> </tr> </tbody> </table> <p>11. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) バックホウ浚渫船運転費 (ICT)</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB311310</td> <td>施工単位</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>浚渫船規格 ①D 1.0m³ ②D 2.0m³</td> <td colspan="2">汚濁防止枠の有無 ①有 ②無</td> </tr> </table> <p>(2) 浚渫土揚土費 (ICT)</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB311320</td> <td>施工単位</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td colspan="3">J 1</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1日当り平均浚渫量 (表11.1)</td> </tr> </table> <p>表11.1 1日当り平均浚渫量</p> <table border="1"> <tr> <td>1日当り平均浚渫量</td> <td>入力番号</td> </tr> <tr> <td>365m³以下</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>365m³を超え645m³以下</td> <td>②</td> </tr> </table> <p>(3) バックホウ浚渫船 (ICT) 保守点検 「第1編第2章②間接工事費 2-7 技術管理費」(WB010520)により計上すること。</p> <p>(4) システム初期費 (ICT) 「第1編第2章②間接工事費 2-7 技術管理費」(WB010510)により計上すること。</p> <p>(5) 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 (ICT) 「第1編第2章②間接工事費 2-7 技術管理費」(WB010610)により計上すること。</p>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ浚渫船 (ICT)	D 1.0m ³	機-35	燃料消費量→287	D 2.0m ³	機械損料数量→ 1.51	ICT建設機械経費 損料加算額			燃料消費量→413				機械損料数量→ 1.51	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	機-18	機械労務数量→ 1.00 燃料消費量→158 機械損料数量→ 1.50	施工歩掛コード	WB311310	施工単位	日	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		浚渫船規格 ①D 1.0m ³ ②D 2.0m ³	汚濁防止枠の有無 ①有 ②無		施工歩掛コード	WB311320	施工単位	日	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1			1日当り平均浚渫量 (表11.1)			1日当り平均浚渫量	入力番号	365m ³ 以下	①	365m ³ を超え645m ³ 以下	②	新規歩掛
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																									
バックホウ浚渫船 (ICT)	D 1.0m ³	機-35	燃料消費量→287																																																									
	D 2.0m ³		機械損料数量→ 1.51																																																									
ICT建設機械経費 損料加算額			燃料消費量→413																																																									
			機械損料数量→ 1.51																																																									
バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	機-18	機械労務数量→ 1.00 燃料消費量→158 機械損料数量→ 1.50																																																									
施工歩掛コード	WB311310	施工単位	日																																																									
施工区分	入 力 条 件																																																											
各 種	J 1	J 2																																																										
	浚渫船規格 ①D 1.0m ³ ②D 2.0m ³	汚濁防止枠の有無 ①有 ②無																																																										
施工歩掛コード	WB311320	施工単位	日																																																									
施工区分	入 力 条 件																																																											
各 種	J 1																																																											
	1日当り平均浚渫量 (表11.1)																																																											
1日当り平均浚渫量	入力番号																																																											
365m ³ 以下	①																																																											
365m ³ を超え645m ³ 以下	②																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 5/5																																																									

工 種	軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管工
-----	--------------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																
	<p>⑤ 軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、軟弱地盤上の河川堤防内に設置するPCプレキャスト構造の樋門・樋管（1,800□～2,100□×1,700～2,000L）に適用する。 ただし、特殊な構造の樋管や、函体の沈下を許容することが困難な樋管等については、適用しない。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トラッククレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 規格が5 t吊以上100 t未満となる場合は、ラフテレーンクレーンを標準とする。 2. 現場条件により上表より難い場合は、別途考慮する。 3. トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>4. ブロック組立工 ブロックの芯合わせ、据付け、無収縮モルタル及びゴム目地による目地作業（型枠設置・撤去、目地工）、裏込グラウト工までの作業とし、歩掛は次表を標準とする。</p> <p>表4.1 ブロック組立工歩掛 (1ブロック当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型 ○○t吊</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>14</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 規格が5 t吊以上100 t未満となる場合は、ラフテレーンクレーンを標準とする。 2. トラッククレーン規格及びラフテレーンクレーン規格は、現場条件により選定する。 3. 諸雑費は、据付調整用塩ビ材、型枠材、ゴム目地用コーキング材、グラウト材、グラウトポンプ及びグラウトミキサーの損料、電力に関する経費、ビニールホース、流出防止用パッキン等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 目地材（無収縮モルタル・ゴム目地）の使用量については別途計上し、計上にあたっては次のとおりとする。 ① 無収縮モルタルについては、1ブロック当り0.06㎡とする。 ② ゴム目地については、沈下量によって材質及び厚さを決定する。使用量については、別途計上とする。</p> <p>III-1-⑤-1</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型	台	1		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	0.3		特殊作業員		人	1.4		普通作業員		人	1.3		トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 ○○t吊	日	0.2		諸雑費率		%	14		<p>⑤ 軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、軟弱地盤上の河川堤防内に設置するPCプレキャスト構造の樋門・樋管（1,800□～2,100□×1,700～2,000L）に適用する。 ただし、特殊な構造の樋管や、函体の沈下を許容することが困難な樋管等については、適用しない。</p> <p>現行どおり</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トラッククレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 規格が5 t吊以上100 t未満となる場合は、ラフテレーンクレーンを標準とする。 2. 現場条件により上表より難い場合は、別途考慮する。 3. トラッククレーン、ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>4. ブロック組立工 ブロックの芯合わせ、据付け、無収縮モルタル及びゴム目地による目地作業（型枠設置・撤去、目地工）、裏込グラウト工までの作業とし、歩掛は次表を標準とする。</p> <p>表4.1 ブロック組立工歩掛 (1ブロック当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型 ○○t吊</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>14</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 規格が5 t吊以上100 t未満となる場合は、ラフテレーンクレーンを標準とする。 2. トラッククレーン規格及びラフテレーンクレーン規格は、現場条件により選定する。 3. 諸雑費は、据付調整用塩ビ材、型枠材、ゴム目地用コーキング材、グラウト材、グラウトポンプ及びグラウトミキサーの損料、電力に関する経費、ビニールホース、流出防止用パッキン等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 目地材（無収縮モルタル・ゴム目地）の使用量については別途計上し、計上にあたっては次のとおりとする。 ① 無収縮モルタルについては、1ブロック当り0.06㎡とする。 ② ゴム目地については、沈下量によって材質及び厚さを決定する。使用量については、別途計上とする。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型	台	1		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	0.3		特殊作業員		人	1.4		普通作業員		人	1.3		トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 ○○t吊	日	0.2		諸雑費率		%	14		記載の変更
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型	台	1																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
土木一般世話役		人	0.3																																																																																
特殊作業員		人	1.4																																																																																
普通作業員		人	1.3																																																																																
トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 ○○t吊	日	0.2																																																																																
諸雑費率		%	14																																																																																
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型	台	1																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																															
土木一般世話役		人	0.3																																																																																
特殊作業員		人	1.4																																																																																
普通作業員		人	1.3																																																																																
トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 ○○t吊	日	0.2																																																																																
諸雑費率		%	14																																																																																
積算上の注意事項			(控え頁) 1/5																																																																																

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行																																																																																																				
現	行	改	正																																																																																																			
		備	考																																																																																																			
<p>5. ケーブル組立工</p> <p>5-1 ケーブル組立工内訳 ケーブル組立工の内訳は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 ケーブル組立工内訳</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P C ケ ー ブ ル</td> <td></td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>シ ー ス</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>定 着 装 置</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PCケーブル組立工</td> <td></td> <td>ケーブル数</td> <td></td> <td>表5.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. PCケーブルのロス率は、+0.05とし、スクラップ控除はしない。 2. シースは実長を計上し、ロス率は、+0.06としてスクラップ控除はしない。 3. 定着装置は、必要個数を計上する。</p> <p>5-2 PCケーブル組立工 PCケーブル組立工は、PCケーブル切断、シース組立、シース内ケーブル挿入、ケーブル整正、定着装置組立、緊張、モルタル充填作業とし、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 PCケーブル組立工歩掛 (10ケーブル当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ケーブル延長は、定着装置内面間の実延長とする。 2. 諸雑費は、定着部のグリッド、定着部型枠、定着装置取付金具、結束線、サンドペーパー、シール材等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>6. グラウト工 グラウト工は、シース内へのグラウト材の注入作業で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 グラウト工歩掛 (シース・100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>15</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、グラウト材、グラウトポンプ、グラウトミキサ、電力に関する経費、ビニールホース等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>7. 可とう継手工 可とう継手については、沈下量によって材質及び厚さが異なるので別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">III-1-⑤-2</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	P C ケ ー ブ ル		kg			シ ー ス		m			定 着 装 置		個			PCケーブル組立工		ケーブル数		表5.2	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1.0		特殊作業員		人	4.5		普通作業員		人	2.4		諸雑費率		%	9		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	0.3		特殊作業員		人	1.6		普通作業員		人	1.5		諸雑費率		%	15		<p>5. ケーブル組立工</p> <p>5-1 ケーブル組立工内訳 ケーブル組立工の内訳は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 ケーブル組立工内訳</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P C ケ ー ブ ル</td> <td></td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>シ ー ス</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>定 着 装 置</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PCケーブル組立工</td> <td></td> <td>ケーブル数</td> <td></td> <td>表5.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. PCケーブルのロス率は、+0.05とし、スクラップ控除はしない。 2. シースは実長を計上し、ロス率は、+0.06としてスクラップ控除はしない。 3. 定着装置は、必要個数を計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	P C ケ ー ブ ル		kg			シ ー ス		m			定 着 装 置		個			PCケーブル組立工		ケーブル数		表5.2	記載の変更
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																		
P C ケ ー ブ ル		kg																																																																																																				
シ ー ス		m																																																																																																				
定 着 装 置		個																																																																																																				
PCケーブル組立工		ケーブル数		表5.2																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																		
土木一般世話役		人	1.0																																																																																																			
特殊作業員		人	4.5																																																																																																			
普通作業員		人	2.4																																																																																																			
諸雑費率		%	9																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																		
土木一般世話役		人	0.3																																																																																																			
特殊作業員		人	1.6																																																																																																			
普通作業員		人	1.5																																																																																																			
諸雑費率		%	15																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																		
P C ケ ー ブ ル		kg																																																																																																				
シ ー ス		m																																																																																																				
定 着 装 置		個																																																																																																				
PCケーブル組立工		ケーブル数		表5.2																																																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 2/5																																																																																																			

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																																	
現 行		改 正																																																																																																																	
備 考																																																																																																																			
<p>8. 機械器具経費 P Cケーブル組立工に使用する機械器具は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 機械器具 (1工事当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>供 用 日 数</th> <th>運 転 日 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td></td> <td>組</td> <td>2</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 45kVA</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 供用日数については、工事工程により日数計上する。 2. 発動発電機は、賃料とする。 3. 燃料費は、別途計上する。</p> <p>9. 内訳書及び単価表 (1) 柔構造樋門・樋管工内訳書</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレキャストブロック</td> <td></td> <td>ブロック</td> <td></td> <td>WB311010</td> </tr> <tr> <td>ブ ロ ッ ク 組 立 工</td> <td></td> <td>#</td> <td></td> <td>単価表(2)</td> </tr> <tr> <td>ケ ー ブ ル 組 立 工</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>内訳書(3)</td> </tr> <tr> <td>グ ラ ウ ト 工</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td>単価表(5)</td> </tr> <tr> <td>機 械 器 具</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>内訳書(6)</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>#</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ブロック組立工 ブロック組立工1ブロック当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td></td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td></td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク レ ー ン</td> <td>油圧併置ジブ型 ○○t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 規格が5 t吊以上100 t未満となる場合は、ラフテレーンクレーンを標準とする。 2. 目地材は、材料費を別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">III-1-⑤-3</p>		機 械 名	規 格	単 位	数 量	供 用 日 数	運 転 日 数	緊張ジャッキ・ポンプ		組	2		—	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 45kVA	台	1	—		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	プレキャストブロック		ブロック		WB311010	ブ ロ ッ ク 組 立 工		#		単価表(2)	ケ ー ブ ル 組 立 工		式	1	内訳書(3)	グ ラ ウ ト 工		m		単価表(5)	機 械 器 具		式	1	内訳書(6)	諸 雑 費		#	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表4.1	特 殊 作 業 員		#		#	普 通 作 業 員		#		#	ト ラ ッ ク レ ー ン	油圧併置ジブ型 ○○t吊	日		表4.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表4.1	計					<p>8. 機械器具経費 P Cケーブル組立工に使用する機械器具は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 機械器具 (1工事当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>供 用 日 数</th> <th>運 転 日 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td></td> <td>組</td> <td>2</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 45kVA</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 供用日数については、工事工程により日数計上する。 2. 発動発電機は、賃料とする。 3. 燃料費は、別途計上する。</p> <p>現行どおり</p> <p>(注) 1. 規格が5 t吊以上100 t未満となる場合は、ラフテレーンクレーンを標準とする。 2. 目地材は、材料費を別途計上する。</p>		機 械 名	規 格	単 位	数 量	供 用 日 数	運 転 日 数	緊張ジャッキ・ポンプ		組	2		—	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 45kVA	台	1	—		記載の変更
機 械 名	規 格	単 位	数 量	供 用 日 数	運 転 日 数																																																																																																														
緊張ジャッキ・ポンプ		組	2		—																																																																																																														
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 45kVA	台	1	—																																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																															
プレキャストブロック		ブロック		WB311010																																																																																																															
ブ ロ ッ ク 組 立 工		#		単価表(2)																																																																																																															
ケ ー ブ ル 組 立 工		式	1	内訳書(3)																																																																																																															
グ ラ ウ ト 工		m		単価表(5)																																																																																																															
機 械 器 具		式	1	内訳書(6)																																																																																																															
諸 雑 費		#	1																																																																																																																
計																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																															
土 木 一 般 世 話 役		人		表4.1																																																																																																															
特 殊 作 業 員		#		#																																																																																																															
普 通 作 業 員		#		#																																																																																																															
ト ラ ッ ク レ ー ン	油圧併置ジブ型 ○○t吊	日		表4.1 機械賃料																																																																																																															
諸 雑 費		式	1	表4.1																																																																																																															
計																																																																																																																			
機 械 名	規 格	単 位	数 量	供 用 日 数	運 転 日 数																																																																																																														
緊張ジャッキ・ポンプ		組	2		—																																																																																																														
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 45kVA	台	1	—																																																																																																															
積算上の注意事項			(控え頁) 3/5																																																																																																																

工 種	軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管工
-----	--------------------

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																																																																																											
現 行		改 正																																																																																																																																																																											
<p>(3) ケーブル組立工</p> <p>ケーブル組立一式当り内訳書</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="2">WB311030</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>P C ケ ー ブ ル</td> <td></td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>シ ー ス</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>定 着 装 置</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td>必要個数計上する</td> </tr> <tr> <td>P C ケ ー ブ ル 組 立 工</td> <td></td> <td>ケーブル数</td> <td></td> <td>単価表(4)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(4) P Cケーブル組立工</p> <p>PCケーブル組立工10ケーブル当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="2">WB311040</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(5) グラウト工</p> <p>グラウトエシース100m当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="2">WB311050</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(6) 機械器具一式当り内訳書</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="2">WB311060</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td></td> <td>組・日</td> <td></td> <td>表8.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 45kVA</td> <td>台・日</td> <td></td> <td>表8.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		施工歩掛コード		WB311030		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	P C ケ ー ブ ル		kg			シ ー ス		m			定 着 装 置		個		必要個数計上する	P C ケ ー ブ ル 組 立 工		ケーブル数		単価表(4)	計					施工歩掛コード		WB311040		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表5.2	特 殊 作 業 員		人		〃	普 通 作 業 員		人		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					施工歩掛コード		WB311050		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表6.1	特 殊 作 業 員		人		〃	普 通 作 業 員		人		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					施工歩掛コード		WB311060		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	緊張ジャッキ・ポンプ		組・日		表8.1 機械損料	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 45kVA	台・日		表8.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1		計					<p>(3) ケーブル組立工</p> <p>ケーブル組立一式当り内訳書</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="2">WB311030</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>P C ケ ー ブ ル</td> <td></td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>シ ー ス</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>定 着 装 置</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td>必要個数計上する</td> </tr> <tr> <td>P C ケ ー ブ ル 組 立 工</td> <td></td> <td>ケーブル数</td> <td></td> <td>単価表(4)</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>現行どおり</p>	施工歩掛コード		WB311030		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	P C ケ ー ブ ル		kg			シ ー ス		m			定 着 装 置		個		必要個数計上する	P C ケ ー ブ ル 組 立 工		ケーブル数		単価表(4)	諸 雑 費		式	1		計					備考
施工歩掛コード		WB311030																																																																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																									
P C ケ ー ブ ル		kg																																																																																																																																																																											
シ ー ス		m																																																																																																																																																																											
定 着 装 置		個		必要個数計上する																																																																																																																																																																									
P C ケ ー ブ ル 組 立 工		ケーブル数		単価表(4)																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																													
施工歩掛コード		WB311040																																																																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																									
土 木 一 般 世 話 役		人		表5.2																																																																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		人		〃																																																																																																																																																																									
普 通 作 業 員		人		〃																																																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																													
施工歩掛コード		WB311050																																																																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																									
土 木 一 般 世 話 役		人		表6.1																																																																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		人		〃																																																																																																																																																																									
普 通 作 業 員		人		〃																																																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																													
施工歩掛コード		WB311060																																																																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																									
緊張ジャッキ・ポンプ		組・日		表8.1 機械損料																																																																																																																																																																									
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 45kVA	台・日		表8.1 機械賃料																																																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																										
計																																																																																																																																																																													
施工歩掛コード		WB311030																																																																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																									
P C ケ ー ブ ル		kg																																																																																																																																																																											
シ ー ス		m																																																																																																																																																																											
定 着 装 置		個		必要個数計上する																																																																																																																																																																									
P C ケ ー ブ ル 組 立 工		ケーブル数		単価表(4)																																																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																										
計																																																																																																																																																																													
積算上の注意事項			(控え頁) 4/5																																																																																																																																																																										

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																															
現 行		改 正																																																																															
備 考		備 考																																																																															
<p>10. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) プレキャストブロック材料費</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB311010</td> <td>施工単位</td> <td>ブロック</td> </tr> </table> <p>(注) プレキャストブロック単価 (Y-0384000) [円/個] を単価登録すること。</p> <p>(2) ブロック組立工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB311020</td> <td>施工単位</td> <td>ブロック</td> </tr> <tr> <td>施 工 区 分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>クレーン規格 (表10.1)</td> <td colspan="2">クレーン 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) トラッククレーン・ラフテレーンクレーンの賃料補正 (夜間作業) を行った場合は労務費調整係数も入力すること。</p> <p style="text-align: center;">表10.1 クレーン規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クレーン規格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン50 t 吊</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン100 t 吊</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン120 t 吊</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン160 t 吊</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン200 t 吊</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン360 t 吊</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ケーブル組立工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB311030</td> <td>施工単位</td> <td>式</td> </tr> <tr> <td>施 工 区 分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> </tr> <tr> <td>P Cケーブル 質量 (kg) (実数入力)</td> <td>シーサ延長 (m) (実数入力)</td> <td>定着装置 (個) (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1 は定着装置内面間の実延長分の質量を入力する。 2. J 2 は実延長分を入力する。 3. P Cケーブル単価 (Y-0150000) [円/kg], シーサ材単価 (Y-0124000) [円/m], 定着装置単価 (Y-0152000) [円/個] を単価登録すること。</p>		施工歩掛コード	WB311010	施工単位	ブロック	施工歩掛コード	WB311020	施工単位	ブロック	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		クレーン規格 (表10.1)	クレーン 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外 (実数入力)		クレーン規格	入力番号	ラフテレーンクレーン50 t 吊	①	トラッククレーン100 t 吊	②	トラッククレーン120 t 吊	③	トラッククレーン160 t 吊	④	トラッククレーン200 t 吊	⑤	トラッククレーン360 t 吊	⑥	施工歩掛コード	WB311030	施工単位	式	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	P Cケーブル 質量 (kg) (実数入力)	シーサ延長 (m) (実数入力)	定着装置 (個) (実数入力)	<p>現行どおり</p> <p>(注) トラッククレーン・ラフテレーンクレーンの賃料補正 (夜間補正作業) を行った場合は労務費調整係数も入力すること。</p> <p style="text-align: center;">表10.1 クレーン規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クレーン規格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン50 t 吊</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン100 t 吊</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン120 t 吊</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン160 t 吊</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン200 t 吊</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン360 t 吊</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ケーブル組立工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB311030</td> <td>施工単位</td> <td>式</td> </tr> <tr> <td>施 工 区 分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> </tr> <tr> <td>P Cケーブル 質量 (kg) (実数入力)</td> <td>シーサ延長 (m) (実数入力)</td> <td>定着装置 (個) (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1 条件は定着装置内面間の実延長分の質量を入力する。 2. J 2 条件は実延長分を入力する。 3. P Cケーブル単価 (Y-0150000) [円/kg], シーサ材単価 (Y-0124000) [円/m], 定着装置単価 (Y-0152000) [円/個] を単価登録すること。</p>		クレーン規格	入力番号	ラフテレーンクレーン50 t 吊	①	トラッククレーン100 t 吊	②	トラッククレーン120 t 吊	③	トラッククレーン160 t 吊	④	トラッククレーン200 t 吊	⑤	トラッククレーン360 t 吊	⑥	施工歩掛コード	WB311030	施工単位	式	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	P Cケーブル 質量 (kg) (実数入力)	シーサ延長 (m) (実数入力)	定着装置 (個) (実数入力)	記載の変更
施工歩掛コード	WB311010	施工単位	ブロック																																																																														
施工歩掛コード	WB311020	施工単位	ブロック																																																																														
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																
各 種	J 1	J 2																																																																															
	クレーン規格 (表10.1)	クレーン 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																															
クレーン規格	入力番号																																																																																
ラフテレーンクレーン50 t 吊	①																																																																																
トラッククレーン100 t 吊	②																																																																																
トラッククレーン120 t 吊	③																																																																																
トラッククレーン160 t 吊	④																																																																																
トラッククレーン200 t 吊	⑤																																																																																
トラッククレーン360 t 吊	⑥																																																																																
施工歩掛コード	WB311030	施工単位	式																																																																														
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																
各 種	J 1	J 2	J 3																																																																														
	P Cケーブル 質量 (kg) (実数入力)	シーサ延長 (m) (実数入力)	定着装置 (個) (実数入力)																																																																														
クレーン規格	入力番号																																																																																
ラフテレーンクレーン50 t 吊	①																																																																																
トラッククレーン100 t 吊	②																																																																																
トラッククレーン120 t 吊	③																																																																																
トラッククレーン160 t 吊	④																																																																																
トラッククレーン200 t 吊	⑤																																																																																
トラッククレーン360 t 吊	⑥																																																																																
施工歩掛コード	WB311030	施工単位	式																																																																														
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																
各 種	J 1	J 2	J 3																																																																														
	P Cケーブル 質量 (kg) (実数入力)	シーサ延長 (m) (実数入力)	定着装置 (個) (実数入力)																																																																														
積算上の注意事項	III-1-⑤-5		(控え頁) 5/5																																																																														

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																												
現	行	改 正	備 考																												
<p>4-7 除草, 集草 (機械), 梱包, 積込・荷卸 (総合) (1) 条件区分 条件区分は, 次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.19 除草, 集草(機械), 梱包, 積込・荷卸(総合) 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">除草機種</th> <th style="text-align: center;">梱包の有無</th> <th style="text-align: center;">機械使用条件</th> <th style="text-align: center;">運搬機械</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">遠隔操縦式 (刈幅 185cm)</td> <td style="text-align: center;">梱包有り</td> <td style="text-align: center;">(表 4.16)</td> <td style="text-align: center;">ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">梱包無し</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(表 4.16)</td> <td style="text-align: center;">ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">バックカー車 (回転式・積載容量 8m³)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">遠隔操縦式 (刈幅 120cm)</td> <td style="text-align: center;">梱包有り</td> <td style="text-align: center;">(表 4.16)</td> <td style="text-align: center;">ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">梱包無し</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(表 4.16)</td> <td style="text-align: center;">ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">バックカー車 (回転式・積載容量 8m³)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">ハンドガイド式 (刈幅 150cm)</td> <td style="text-align: center;">梱包有り</td> <td style="text-align: center;">(表 4.16)</td> <td style="text-align: center;">ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">梱包無し</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">バックカー車 (回転式・積載容量 8m³)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は, 河川堤防及び高水敷等の除草, 機械による集草, 梱包, 人力による積込・荷卸, 補助列の他, 燃料費, 補助列に使用する機械経費, 梱包材料等, その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。なお, 補助列は, 機械除草の刈り残しや構造物周辺等を肩掛式草刈機や人力で除草するものである。 2. 除草と集草を同一機種で行う場合に適用する。 3. 集草機械は, 各々の除草機械のアタッチメント [「レーキ式 (タイン式) 』とする。 4. 刈草梱包機械は, ハンドガイド式[簡易搭乗型] (梱包径 50 cm×幅 70 cm) を標準とする。 5. 運搬機械はダンプトラックを標準とし, 処分場等受入れ側の指定機械がバックカー車のみに限られる場合には, バックカー車を選定する。 6. 運搬機械が現地 (天端や法尻等) に入れない場合の積込みは別途考慮する。 7. 廃棄, 処分費用等が必要な場合は, 別途計上する。 8. 危険物, 空き缶, ビニール, 流木, 石等の除去は, 「第Ⅲ編第 2 章河川維持工⑥塵芥処理工」で別途計上する。 9. 飛散防止措置が必要な場合は, 別途計上する。</p>		除草機種	梱包の有無	機械使用条件	運搬機械	遠隔操縦式 (刈幅 185cm)	梱包有り	(表 4.16)	ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)	梱包無し	(表 4.16)	ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)	バックカー車 (回転式・積載容量 8m ³)	遠隔操縦式 (刈幅 120cm)	梱包有り	(表 4.16)	ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)	梱包無し	(表 4.16)	ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)	バックカー車 (回転式・積載容量 8m ³)	ハンドガイド式 (刈幅 150cm)	梱包有り	(表 4.16)	ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)	梱包無し	-	ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)	バックカー車 (回転式・積載容量 8m ³)	<p>現行どおり</p>	<p>記載の変更</p>
除草機種	梱包の有無	機械使用条件	運搬機械																												
遠隔操縦式 (刈幅 185cm)	梱包有り	(表 4.16)	ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)																												
	梱包無し	(表 4.16)	ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)																												
			バックカー車 (回転式・積載容量 8m ³)																												
遠隔操縦式 (刈幅 120cm)	梱包有り	(表 4.16)	ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)																												
	梱包無し	(表 4.16)	ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)																												
			バックカー車 (回転式・積載容量 8m ³)																												
ハンドガイド式 (刈幅 150cm)	梱包有り	(表 4.16)	ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)																												
	梱包無し	-	ダンプトラック (オンロード・ディーゼル・2t 積載)																												
			バックカー車 (回転式・積載容量 8m ³)																												
積算上の注意事項	III-2-①-12		(控え頁) 1 / 1																												

工 種	堤防天端補修工
-----	---------

改正理由	廃止	改正 現行	備 考
現	行	改	正
	<p>② 堤防天端補修工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川堤防の管理用通路における天端補修に適用する。 1-1 適用出来る範囲 1-1-1 不陸修正・締固め (1) 補修材平均厚さが325mm以下の場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[機械搬入] --> B[不陸修正] B --> C["(補修材敷均し)"] C --> D[締固め] D --> E[機械撤去] </pre> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. () 書きは必要に応じて計上する。</p> <p style="text-align: center;">III-2-②-1</p>	削除	歩掛の廃止
積算上の注意事項			(控え頁) 1/4

改正理由	廃止	改正 現行																															
現	行	改	正																														
		備	考																														
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 不陸整正・締固め</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 不陸整正・締固め 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">補修材数均しの有無</th> <th style="width: 50%;">補修材の種類</th> <th style="width: 30%;">補修材平均厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">有り</td> <td>フラッシュ(C-10)</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">(表3.2)</td> </tr> <tr> <td>フラッシュ(C-30)</td> </tr> <tr> <td>フラッシュ(C-20)</td> </tr> <tr> <td>粒度調整砕石(M-10)</td> </tr> <tr> <td>粒度調整砕石(M-30)</td> </tr> <tr> <td>粒度調整砕石(M-25)</td> </tr> <tr> <td>再生フラッシュ(RC-10)</td> </tr> <tr> <td>再生フラッシュ(RC-30)</td> </tr> <tr> <td>再生フラッシュ(RC-20)</td> </tr> <tr> <td>砕石各種</td> </tr> <tr> <td>補修材料費不要</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、管理用通路等の天端補修における不陸整正、補修材数均し、締固め等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 補修材の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.11)</p> <p style="text-align: center;">表3.2 補修材平均厚さ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">積算条件</th> <th style="width: 50%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center;">補修材平均厚さ</td> <td>25mm未満</td> </tr> <tr> <td>25mm以上75mm未満</td> </tr> <tr> <td>75mm以上125mm未満</td> </tr> <tr> <td>125mm以上175mm未満</td> </tr> <tr> <td>175mm以上225mm未満</td> </tr> <tr> <td>225mm以上275mm未満</td> </tr> <tr> <td>275mm以上325mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">III-2-②-2</p>		補修材数均しの有無	補修材の種類	補修材平均厚さ	無し	-	-	有り	フラッシュ(C-10)	(表3.2)	フラッシュ(C-30)	フラッシュ(C-20)	粒度調整砕石(M-10)	粒度調整砕石(M-30)	粒度調整砕石(M-25)	再生フラッシュ(RC-10)	再生フラッシュ(RC-30)	再生フラッシュ(RC-20)	砕石各種	補修材料費不要	-	積算条件	区分	補修材平均厚さ	25mm未満	25mm以上75mm未満	75mm以上125mm未満	125mm以上175mm未満	175mm以上225mm未満	225mm以上275mm未満	275mm以上325mm以下	<p>削除</p>	<p>歩掛の廃止</p>
補修材数均しの有無	補修材の種類	補修材平均厚さ																															
無し	-	-																															
有り	フラッシュ(C-10)	(表3.2)																															
	フラッシュ(C-30)																																
	フラッシュ(C-20)																																
	粒度調整砕石(M-10)																																
	粒度調整砕石(M-30)																																
	粒度調整砕石(M-25)																																
	再生フラッシュ(RC-10)																																
	再生フラッシュ(RC-30)																																
	再生フラッシュ(RC-20)																																
	砕石各種																																
補修材料費不要	-																																
積算条件	区分																																
補修材平均厚さ	25mm未満																																
	25mm以上75mm未満																																
	75mm以上125mm未満																																
	125mm以上175mm未満																																
	175mm以上225mm未満																																
	225mm以上275mm未満																																
	275mm以上325mm以下																																
積算上の注意事項			(控え頁) 2/4																														

改 正 理 由	廃止	改 正 現 行	備 考																															
現	行	改 正	備 考																															
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 不陸整正・締固め 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">代表機材規格</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第1次基準値)] プレード幅 3.1m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 再生クラッシュラン (RC-40)</td> <td>・補修材散均し「有り」かつ材料が必要な場合</td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第1次基準値)] プレード幅 3.1m		K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 8~20t		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 運転手 (特殊)		R3 土木一般世話役		R4 -		材料	Z1 再生クラッシュラン (RC-40)	・補修材散均し「有り」かつ材料が必要な場合	Z2 軽油 1.2号 バトルール給油		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>→ 削除</p>	<p>歩掛の廃止</p>
項目	代表機材規格	備考																																
機械	K1 モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第1次基準値)] プレード幅 3.1m																																	
	K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 8~20t																																	
	K3 -																																	
労務	R1 普通作業員																																	
	R2 運転手 (特殊)																																	
	R3 土木一般世話役																																	
	R4 -																																	
材料	Z1 再生クラッシュラン (RC-40)	・補修材散均し「有り」かつ材料が必要な場合																																
	Z2 軽油 1.2号 バトルール給油																																	
	Z3 -																																	
	Z4 -																																	
市場単価	S -																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																															

改正理由	廃止	改正 <hr/> 現行																																																												
現	行	改	正																																																											
<p>4. 施工単価入力基準表 (1) 不陸整正・締固め</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB320210</td> <td>施工単位</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">各 種</td> <td style="text-align: center;">J 1</td> <td style="text-align: center;">J 2</td> <td style="text-align: center;">J 3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">補修材数均しの有無 ①無し ②有り</td> <td style="text-align: center;">補修材の種類 (表 4.1)</td> <td style="text-align: center;">補修材 平均厚さ (表 4.2)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1 条件で①を選択した場合、J 2、J 3 条件は入力する必要はない。 2. 発生土等の利用により補修材料費が不要な場合には、J 2 条件で①を選択すること。 なお、J 2 条件で②を選択した場合は、J 3 条件は入力する必要はない。 3. J 2 条件で②を選択した場合には、砕石単価 (Y-0241000) [T/m³] を単価登録すること。 4. 本コードは、補修材の材料ロスを含む。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>表4.1 補修材の種類</caption> <thead> <tr> <th>補修材の種類</th> <th>入力番号</th> <th>補修材の種類</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クラッシュヤラン (C-40)</td> <td style="text-align: center;">①</td> <td>再生クラッシュヤラン (RC-40)</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">n (C-30)</td> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">n (RC-30)</td> <td style="text-align: center;">③</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">n (C-20)</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">n (RC-20)</td> <td style="text-align: center;">④</td> </tr> <tr> <td>粒度調整砕石 (M-40)</td> <td style="text-align: center;">④</td> <td>砕石各種</td> <td style="text-align: center;">⑤</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">n (M-30)</td> <td style="text-align: center;">⑤</td> <td>補修材料費不要</td> <td style="text-align: center;">⑥</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">n (M-25)</td> <td style="text-align: center;">⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>表4.2 補修材平均厚さ</caption> <thead> <tr> <th>補修材平均厚さ</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25mm 未満</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>25mm 以上 75mm 未満</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> <tr> <td>75mm 以上 125mm 未満</td> <td style="text-align: center;">③</td> </tr> <tr> <td>125mm 以上 175mm 未満</td> <td style="text-align: center;">④</td> </tr> <tr> <td>175mm 以上 225mm 未満</td> <td style="text-align: center;">⑤</td> </tr> <tr> <td>225mm 以上 275mm 未満</td> <td style="text-align: center;">⑥</td> </tr> <tr> <td>275mm 以上 325mm 以下</td> <td style="text-align: center;">⑦</td> </tr> </tbody> </table>		パッケージコード	CB320210	施工単位	m ²	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	補修材数均しの有無 ①無し ②有り	補修材の種類 (表 4.1)	補修材 平均厚さ (表 4.2)	補修材の種類	入力番号	補修材の種類	入力番号	クラッシュヤラン (C-40)	①	再生クラッシュヤラン (RC-40)	②	n (C-30)	②	n (RC-30)	③	n (C-20)	③	n (RC-20)	④	粒度調整砕石 (M-40)	④	砕石各種	⑤	n (M-30)	⑤	補修材料費不要	⑥	n (M-25)	⑥			補修材平均厚さ	入力番号	25mm 未満	①	25mm 以上 75mm 未満	②	75mm 以上 125mm 未満	③	125mm 以上 175mm 未満	④	175mm 以上 225mm 未満	⑤	225mm 以上 275mm 未満	⑥	275mm 以上 325mm 以下	⑦	<p>削除</p>	備考
パッケージコード	CB320210	施工単位	m ²																																																											
施工区分	入 力 条 件																																																													
各 種	J 1	J 2	J 3																																																											
	補修材数均しの有無 ①無し ②有り	補修材の種類 (表 4.1)	補修材 平均厚さ (表 4.2)																																																											
補修材の種類	入力番号	補修材の種類	入力番号																																																											
クラッシュヤラン (C-40)	①	再生クラッシュヤラン (RC-40)	②																																																											
n (C-30)	②	n (RC-30)	③																																																											
n (C-20)	③	n (RC-20)	④																																																											
粒度調整砕石 (M-40)	④	砕石各種	⑤																																																											
n (M-30)	⑤	補修材料費不要	⑥																																																											
n (M-25)	⑥																																																													
補修材平均厚さ	入力番号																																																													
25mm 未満	①																																																													
25mm 以上 75mm 未満	②																																																													
75mm 以上 125mm 未満	③																																																													
125mm 以上 175mm 未満	④																																																													
175mm 以上 225mm 未満	⑤																																																													
225mm 以上 275mm 未満	⑥																																																													
275mm 以上 325mm 以下	⑦																																																													
積算上の注意事項		(控え頁) 4/4																																																												

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考																																																															
	現 行	改 正																																																																
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.11 堆積塵芥収集(機械処理) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ (クローラ型) 〔標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)〕 山積 0.45m³ (平積 0.35m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ用アタッチメント [細み装置] 開口幅 1,700~2,000mm 爪幅 400~750mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t 積載 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積載</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・運搬を含む場合 ・塵芥の種類が木片、空き缶、枯草等のかさ高物や軽量物の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む ・運搬を含む場合 ・塵芥の種類がコンクリート塊等の重量物の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 運転手 (一般)</td> <td>運搬を含む場合</td> </tr> <tr> <td>R 3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ (クローラ型) 〔標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)〕 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)		K 2 バックホウ用アタッチメント [細み装置] 開口幅 1,700~2,000mm 爪幅 400~750mm		K 3 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t 積載 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積載	<ul style="list-style-type: none"> ・運搬を含む場合 ・塵芥の種類が木片、空き缶、枯草等のかさ高物や軽量物の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む ・運搬を含む場合 ・塵芥の種類がコンクリート塊等の重量物の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む 	労務	R 1 運転手 (特殊)		R 2 運転手 (一般)	運搬を含む場合	R 3 普通作業員		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1 軽油 1.2号 バトルール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.11 堆積塵芥収集(機械処理) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ (クローラ型) 〔標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)〕 山積 0.45m³ (平積 0.35m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ用アタッチメント [細み装置] 開口幅 1,700~2,000mm 爪幅 400~750mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t 積載 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積載</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・運搬を含む場合 ・塵芥の種類が木片、空き缶、枯草等のかさ高物や軽量物の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む ・運搬を含む場合 ・塵芥の種類がコンクリート塊等の重量物の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 運転手 (特殊) 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 運転手 (一般) 運転手 (特殊)</td> <td>運搬を含む場合</td> </tr> <tr> <td>R 3 普通作業員 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 土木一般世話役 運転手 (一般)</td> <td>運搬を含む場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ (クローラ型) 〔標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)〕 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)		K 2 バックホウ用アタッチメント [細み装置] 開口幅 1,700~2,000mm 爪幅 400~750mm		K 3 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t 積載 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積載	<ul style="list-style-type: none"> ・運搬を含む場合 ・塵芥の種類が木片、空き缶、枯草等のかさ高物や軽量物の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む ・運搬を含む場合 ・塵芥の種類がコンクリート塊等の重量物の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む 	労務	R 1 運転手 (特殊) 普通作業員		R 2 運転手 (一般) 運転手 (特殊)	運搬を含む場合	R 3 普通作業員 土木一般世話役		R 4 土木一般世話役 運転手 (一般)	運搬を含む場合	材料	Z 1 軽油 1.2号 バトルール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		→	→
項目	代表機材規格	備考																																																																
機械	K 1 バックホウ (クローラ型) 〔標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)〕 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)																																																																	
	K 2 バックホウ用アタッチメント [細み装置] 開口幅 1,700~2,000mm 爪幅 400~750mm																																																																	
	K 3 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t 積載 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積載	<ul style="list-style-type: none"> ・運搬を含む場合 ・塵芥の種類が木片、空き缶、枯草等のかさ高物や軽量物の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む ・運搬を含む場合 ・塵芥の種類がコンクリート塊等の重量物の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む 																																																																
労務	R 1 運転手 (特殊)																																																																	
	R 2 運転手 (一般)	運搬を含む場合																																																																
	R 3 普通作業員																																																																	
	R 4 土木一般世話役																																																																	
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトルール給油																																																																	
	Z 2 -																																																																	
	Z 3 -																																																																	
	Z 4 -																																																																	
市場単価	S -																																																																	
項目	代表機材規格	備考																																																																
機械	K 1 バックホウ (クローラ型) 〔標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)〕 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)																																																																	
	K 2 バックホウ用アタッチメント [細み装置] 開口幅 1,700~2,000mm 爪幅 400~750mm																																																																	
	K 3 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t 積載 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積載	<ul style="list-style-type: none"> ・運搬を含む場合 ・塵芥の種類が木片、空き缶、枯草等のかさ高物や軽量物の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む ・運搬を含む場合 ・塵芥の種類がコンクリート塊等の重量物の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む 																																																																
労務	R 1 運転手 (特殊) 普通作業員																																																																	
	R 2 運転手 (一般) 運転手 (特殊)	運搬を含む場合																																																																
	R 3 普通作業員 土木一般世話役																																																																	
	R 4 土木一般世話役 運転手 (一般)	運搬を含む場合																																																																
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトルール給油																																																																	
	Z 2 -																																																																	
	Z 3 -																																																																	
	Z 4 -																																																																	
市場単価	S -																																																																	
III-2-⑤-7			記載の変更																																																															
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																															

工 種	機械土工(河床等掘削) (ICT)
-----	-------------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	現 行	改 正	
	<p>⑧-2 機械土工 (河床等掘削) (ICT)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川工事における以下の機械土工を、バックホウ (ICT施工対応型) により施工する場合に適用する。ただし、下記以外の一般土工には適用しない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 河床等掘削 (1) 3D-MG又はMCバックホウによる川や水路及び河川等の河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去するような軽量作業及び積込み (2) 最大掘削深さが6.5m以下の場合</p> <p>1-1-2 軟弱土等運搬 (1) 川や水路及び河川等の河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去し、水切りした後の運搬</p> <p>2. 施工概要 施工フローは下記のとおりとする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは二重実線部分のみである。 2. タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 河床等掘削 (1) 条件区分 河床等掘削における積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。 (注) 河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去するような軽量作業及び河川工事におけるほぐした土の掘削、積込み等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含み、クレーン作業は含まない。</p>	<p>⑧⑦-2 機械土工 (河床等掘削) (ICT)</p> <p>現行どおり</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 河床等掘削 (1) 条件区分 河床等掘削における積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。 (注) 河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去するような軽量作業及び河川工事におけるほぐした土の掘削、積込み等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含み、クレーン作業は含まない。</p>	<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
III-2-⑧-5			
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																			
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>3-2 軟弱土等運搬 (ICT) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 軟弱土等運搬 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">DID 区間の有無</th> <th style="text-align: center;">運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="15" style="text-align: center;">無し</td><td>0.2km 以下</td></tr> <tr><td>0.5km 以下</td></tr> <tr><td>0.8km 以下</td></tr> <tr><td>1.1km 以下</td></tr> <tr><td>1.5km 以下</td></tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>2.6km 以下</td></tr> <tr><td>3.3km 以下</td></tr> <tr><td>4.2km 以下</td></tr> <tr><td>5.5km 以下</td></tr> <tr><td>7.3km 以下</td></tr> <tr><td>9.7km 以下</td></tr> <tr><td>13.8km 以下</td></tr> <tr><td>22.0km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> <tr><td rowspan="15" style="text-align: center;">有り</td><td>0.2km 以下</td></tr> <tr><td>0.4km 以下</td></tr> <tr><td>0.7km 以下</td></tr> <tr><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>1.4km 以下</td></tr> <tr><td>1.9km 以下</td></tr> <tr><td>2.5km 以下</td></tr> <tr><td>3.1km 以下</td></tr> <tr><td>4.0km 以下</td></tr> <tr><td>5.2km 以下</td></tr> <tr><td>6.7km 以下</td></tr> <tr><td>9.0km 以下</td></tr> <tr><td>12.6km 以下</td></tr> <tr><td>19.5km 以下</td></tr> <tr><td>39.0km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去した後の運搬作業及び道路、河川工事におけるほぐした土の運搬作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(燃料等を含む)を含む。 2. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理にかかる費用を含む。 3. タイヤ損耗の「良好」「普通」「不良」にかかわらず適用出来る。 4. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは平均値とする。 5. DID (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 6. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。 7. 現場条件により表3. 3で想定する機械により難い場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">III-2-⑧-7</p>	DID 区間の有無	運搬距離	無し	0.2km 以下	0.5km 以下	0.8km 以下	1.1km 以下	1.5km 以下	2.0km 以下	2.6km 以下	3.3km 以下	4.2km 以下	5.5km 以下	7.3km 以下	9.7km 以下	13.8km 以下	22.0km 以下	60.0km 以下	有り	0.2km 以下	0.4km 以下	0.7km 以下	1.0km 以下	1.4km 以下	1.9km 以下	2.5km 以下	3.1km 以下	4.0km 以下	5.2km 以下	6.7km 以下	9.0km 以下	12.6km 以下	19.5km 以下	39.0km 以下	60.0km 以下	<p>現行どおり</p>	<p>記載の変更</p>
DID 区間の有無	運搬距離																																					
無し	0.2km 以下																																					
	0.5km 以下																																					
	0.8km 以下																																					
	1.1km 以下																																					
	1.5km 以下																																					
	2.0km 以下																																					
	2.6km 以下																																					
	3.3km 以下																																					
	4.2km 以下																																					
	5.5km 以下																																					
	7.3km 以下																																					
	9.7km 以下																																					
	13.8km 以下																																					
	22.0km 以下																																					
	60.0km 以下																																					
有り	0.2km 以下																																					
	0.4km 以下																																					
	0.7km 以下																																					
	1.0km 以下																																					
	1.4km 以下																																					
	1.9km 以下																																					
	2.5km 以下																																					
	3.1km 以下																																					
	4.0km 以下																																					
	5.2km 以下																																					
	6.7km 以下																																					
	9.0km 以下																																					
	12.6km 以下																																					
	19.5km 以下																																					
	39.0km 以下																																					
60.0km 以下																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 2/3																																			

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																					
現	行	改 正	備 考																					
<p>5-4 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仮設費率補正係数 : 1.2 ・現場管理費率補正係数 : 1.1 <p style="text-align: center;">※小数点第3位四捨五入2位止め</p> <p>なお、機械土工（河床等掘削）（ICT）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の（1）及び（2）とする。なお、その他の出来形管理の経費は、共通仮設費及び現場管理費率に含まれる。</p> <p>（1）音響測深機器を用いた出来形管理 （2）上記（1）に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理</p> <p>6. 施工単価入力基準表</p> <p>（1）河床等掘削（ICT）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">パッケージコード</td> <td style="width: 20%;">CB321430</td> <td style="width: 30%;">施 工 単 位</td> <td style="width: 20%;">m3</td> </tr> </table> <p>（注）上表の土量は、地山土量である。</p> <p>（2）機械土工（河床等掘削）（ICT）保守点検 「第1編第2章②間接工事費 2-7 技術管理費」(WB010500)により計上すること。</p> <p>（3）システム初期費（ICT） 「第1編第2章②間接工事費 2-7 技術管理費」(WB010510)により計上すること。</p> <p>（4）3次元起工測量・3次元設計データの作成費用（ICT） 「第1編第2章②間接工事費 2-7 技術管理費」(WB010610)により計上すること。</p> <p>（5）軟弱土等運搬（ICT）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">パッケージコード</td> <td style="width: 20%;">CB321440</td> <td style="width: 30%;">施 工 単 位</td> <td style="width: 20%;">m3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">施 工 区 分</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">各 種</td> <td style="text-align: center;">J 1</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">J 2～3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D1D区間の有無</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">運搬距離</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">①無し ②有り</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">(表6.1)</td> </tr> </table> <p>（注）上表の土量は、地山土量である。</p>	パッケージコード	CB321430	施 工 単 位	m3	パッケージコード	CB321440	施 工 単 位	m3	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2～3		D1D区間の有無	運搬距離		①無し ②有り	(表6.1)		<p>5-4 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 （1）3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仮設費率補正係数 : 1.2 ・現場管理費率補正係数 : 1.1 <p style="text-align: center;">※小数点第3位四捨五入2位止め</p> <p>なお、機械土工（河床等掘削）（ICT）において、経費の計上が適用となる上記費用の対象となる出来形管理は、以下の（1）及び（2）とする。し、ICT活用工事（土工）実施要領に示された、ICT建設機械の施工履歴データを用いた出来形管理及びその他の3次元計測技術（（1）に類似する）技術以外を用いたなお、その他の出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれるため、別途計上は行わない。</p> <p>（1）音響測深機器を用いた出来形管理 （2）上記（1）に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理</p> <p>（2）費用計上にあたっての留意事項</p> <p>1）3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が（1）で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。</p> <p>2）受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。</p>	記載の変更
パッケージコード	CB321430	施 工 単 位	m3																					
パッケージコード	CB321440	施 工 単 位	m3																					
施 工 区 分	入 力 条 件																							
各 種	J 1	J 2～3																						
	D1D区間の有無	運搬距離																						
	①無し ②有り	(表6.1)																						
積算上の注意事項	III-2-⑧-9	現行どおり	(控え頁) 3/3																					

工 種	巨石積(張)工
-----	---------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																														
	現 行	改 正																																																																																															
	<p>(2) 代表機勞材規格 下表機勞材は、当該施工パッケージで使用されている機勞材の代表的な規格である。</p> <p>3. 8 巨石積(空) 代表機勞材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機勞材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(2011年規制)]山積0.8m3(平積0.6m3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">勞務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8kN/m</td> <td>吸出し防止材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 再生クラッシュラン RC=40(裏込材)</td> <td>裏込材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 軽油 1.2号 バトル給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 再生クラッシュラン RC=40(胴込材)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-3 巨石積(縦)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.9 巨石積(縦) 積算条件区分一覧 (積算単位:m2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>石材径区分</th> <th>遮水シートの有無</th> <th>止水シートの有無</th> <th>裏込材の有無</th> <th>裏込材規格</th> <th>胴込・裏込コンクリート使用量</th> <th>胴込・裏込コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">(表3.2)</td> <td rowspan="4">有り</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> <td>(表3.3)</td> <td rowspan="8">(表3.4)</td> <td rowspan="8">(表3.5)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無し</td> <td>有り</td> <td>(表3.3)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">無し</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> <td>(表3.3)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無し</td> <td>有り</td> <td>(表3.3)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、巨石(法配1割未満)の設置、裏込材設置、胴込・裏込コンクリート打設(一般養生を含む)、遮水シート・止水シート、水抜きパイプ、吸出し防止材、現場内小運搬の他、型枠、コンクリートバケット、コンクリートパイプレータ、つき固め機械損料等、その施工に必要な全ての機械・勞務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石材(材料費)は含まない。 2. 石材径とは、最大径と最小径の平均値とする。 3. 20m程度の現場内小運搬を含むが、施工現場まで距離がある場合(20m超)の運搬費は、別途計上する。 4. 石材を現地採取する場合は、「3-6 巨石採取」で別途計上する。また、石材を購入する場合は、購入費をm2当り単価で別途計上する。 5. かみ合せによる石の加工を含む。 6. 遮水・止水シート、裏込材、胴込・裏込コンクリートの材料ロスを含む。標準ロス率は、遮水・止水シートが+0.09、裏込材が+0.20、胴込・裏込コンクリートが+0.13とする。 7. 裏込材とは、裏込砕石(クラッシュラン、雑砕石等)とする。</p>	項目	代表機勞材規格	備考	機械	K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊	賃料	K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(2011年規制)]山積0.8m3(平積0.6m3)		K 3 -		勞務	R 1 普通作業員		R 2 特殊作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 運転手(特殊)		材料	Z 1 吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8kN/m	吸出し防止材が有りの場合	Z 2 再生クラッシュラン RC=40(裏込材)	裏込材が有りの場合	Z 3 軽油 1.2号 バトル給油		Z 4 再生クラッシュラン RC=40(胴込材)		市場単価	S -		石材径区分	遮水シートの有無	止水シートの有無	裏込材の有無	裏込材規格	胴込・裏込コンクリート使用量	胴込・裏込コンクリート規格	(表3.2)	有り	有り	有り	(表3.3)	(表3.4)	(表3.5)	無し	-	無し	有り	(表3.3)	無し	-	無し	有り	有り	(表3.3)	無し	-	無し	有り	(表3.3)	無し	-	<p>(2) 代表機勞材規格 下表機勞材は、当該施工パッケージで使用されている機勞材の代表的な規格である。</p> <p>3. 8 巨石積(空) 代表機勞材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機勞材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(2011年規制)]山積0.8m3(平積0.6m3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">勞務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 特殊作業員土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8kN/m</td> <td>吸出し防止材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 再生クラッシュラン RC=40(裏込材)</td> <td>裏込材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 軽油 1.2号 バトル給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 再生クラッシュラン RC=40(胴込材)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>記載の変更</p> <p>現行どおり</p>	項目	代表機勞材規格	備考	機械	K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊	賃料	K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(2011年規制)]山積0.8m3(平積0.6m3)		K 3 -		勞務	R 1 普通作業員		R 2 特殊作業員 土木一般世話役		R 3 土木一般世話役 特殊作業員		R 4 運転手(特殊)		材料	Z 1 吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8kN/m	吸出し防止材が有りの場合	Z 2 再生クラッシュラン RC=40(裏込材)	裏込材が有りの場合	Z 3 軽油 1.2号 バトル給油		Z 4 再生クラッシュラン RC=40(胴込材)		市場単価	S -		
項目	代表機勞材規格	備考																																																																																															
機械	K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊	賃料																																																																																															
	K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(2011年規制)]山積0.8m3(平積0.6m3)																																																																																																
	K 3 -																																																																																																
勞務	R 1 普通作業員																																																																																																
	R 2 特殊作業員																																																																																																
	R 3 土木一般世話役																																																																																																
	R 4 運転手(特殊)																																																																																																
材料	Z 1 吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8kN/m	吸出し防止材が有りの場合																																																																																															
	Z 2 再生クラッシュラン RC=40(裏込材)	裏込材が有りの場合																																																																																															
	Z 3 軽油 1.2号 バトル給油																																																																																																
	Z 4 再生クラッシュラン RC=40(胴込材)																																																																																																
市場単価	S -																																																																																																
石材径区分	遮水シートの有無	止水シートの有無	裏込材の有無	裏込材規格	胴込・裏込コンクリート使用量	胴込・裏込コンクリート規格																																																																																											
(表3.2)	有り	有り	有り	(表3.3)	(表3.4)	(表3.5)																																																																																											
			無し	-																																																																																													
		無し	有り	(表3.3)																																																																																													
			無し	-																																																																																													
	無し	有り	有り	(表3.3)																																																																																													
			無し	-																																																																																													
		無し	有り	(表3.3)																																																																																													
			無し	-																																																																																													
項目	代表機勞材規格	備考																																																																																															
機械	K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊	賃料																																																																																															
	K 2 バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(2011年規制)]山積0.8m3(平積0.6m3)																																																																																																
	K 3 -																																																																																																
勞務	R 1 普通作業員																																																																																																
	R 2 特殊作業員 土木一般世話役																																																																																																
	R 3 土木一般世話役 特殊作業員																																																																																																
	R 4 運転手(特殊)																																																																																																
材料	Z 1 吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8kN/m	吸出し防止材が有りの場合																																																																																															
	Z 2 再生クラッシュラン RC=40(裏込材)	裏込材が有りの場合																																																																																															
	Z 3 軽油 1.2号 バトル給油																																																																																																
	Z 4 再生クラッシュラン RC=40(胴込材)																																																																																																
市場単価	S -																																																																																																
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																														

工 種	巨石据付工
-----	-------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																						
	現 行	改 正																																																																																																							
	<p>⑨-3 巨石据付工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川における多自然護岸工事の施工で、巨石（0.5～1.5m）を据付ける場合（水平置き）に適用する。</p> <p>2. 機種の選定</p> <p>表2.1 機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）25 t 吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）1. ラフテレンクレーンは賃料とする。 2. 現場状況等により上表により難い場合は、石材の大きさ、質量、作業半径及び現場状況により機種・規格を別途選定する。</p> <p>3. 施工歩掛</p> <p>3-1 巨石据付歩掛 巨石据付歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 巨石据付歩掛 (10㎡当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.24</td> </tr> <tr> <td>石 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.56</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン 運 転</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）25 t 吊</td> <td>日</td> <td>0.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 材料使用量 巨石の使用数量は、次式による。 巨石の使用数量（個）=10×（√3/2×[巨石径m]²）……式3.1</p> <p>4. 単 価 表 （1）巨石据付10㎡当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工歩掛コード</th> <th colspan="2">WB322010</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.24</td> </tr> <tr> <td>石 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.56</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）25 t 吊</td> <td>日</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <td>巨 石</td> <td>径0.5～1.5m</td> <td>個</td> <td>式3.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>III-2-⑨-14</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）25 t 吊	台	1		名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	0.24	石 工		〃	0.30	普 通 作 業 員		〃	0.56	ラフテレンクレーン 運 転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）25 t 吊	日	0.20	施工歩掛コード		WB322010		名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	0.24	石 工		〃	0.30	普 通 作 業 員		〃	0.56	ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）25 t 吊	日	0.20	巨 石	径0.5～1.5m	個	式3.1	諸 雑 費		式	1	計				<p>⑧⑨-3 巨石据付工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川における多自然護岸工事の施工で、巨石（径0.5～1.5m）を据付ける場合（水平置き）に適用する。</p> <p>現行どおり</p> <p>3-2 材料使用量 巨石の使用数量は、次式による。 巨石の使用数量（個）=10×（√3/2×[巨石径m]²）……式3.1</p> <p>4. 単 価 表 （1）巨石据付10㎡当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工歩掛コード</th> <th colspan="2">WB322010</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.24</td> </tr> <tr> <td>石 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.56</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）25 t 吊</td> <td>日</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <td>巨 石</td> <td>径0.5～1.5m</td> <td>個</td> <td>式3.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>記載の変更</p>	施工歩掛コード		WB322010		名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	0.24	石 工		〃	0.30	普 通 作 業 員		〃	0.56	ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）25 t 吊	日	0.20	巨 石	径0.5～1.5m	個	式3.1	諸 雑 費		式	1	計				
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																					
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）25 t 吊	台	1																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人	0.24																																																																																																						
石 工		〃	0.30																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃	0.56																																																																																																						
ラフテレンクレーン 運 転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）25 t 吊	日	0.20																																																																																																						
施工歩掛コード		WB322010																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人	0.24																																																																																																						
石 工		〃	0.30																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃	0.56																																																																																																						
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）25 t 吊	日	0.20																																																																																																						
巨 石	径0.5～1.5m	個	式3.1																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																						
計																																																																																																									
施工歩掛コード		WB322010																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人	0.24																																																																																																						
石 工		〃	0.30																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃	0.56																																																																																																						
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）25 t 吊	日	0.20																																																																																																						
巨 石	径0.5～1.5m	個	式3.1																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																						
計																																																																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																																																																																						

工 種	巨石据付工
-----	-------

改正理由	一部改正	改正 現行																															
現 行		改 正																															
<p>5. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 巨石据付工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB322010</td> <td>施工単位</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーンの 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> <td>巨 石 ①購 入 ②現地採取</td> <td>巨 石 の 径 (m) (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンの賃料補正（夜間作業）を行った場合は、労務費調整係数も入力する。 2. J 2条件で①を選択した場合は、巨石単価（Y-0259000）[円/個]を単価登録すること。また、J 2条件で②を選択した場合は、J 3条件を入力する必要はない。 3. J 3条件は、巨石の径を「m」単位で、小数第2位を四捨五入し、1位止めで入力すること。</p>		施工歩掛コード	WB322010	施工単位	m ³	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	ラフテレーンクレーンの 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外 (実数入力)	巨 石 ①購 入 ②現地採取	巨 石 の 径 (m) (実数入力)	<p>5. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 巨石据付工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB322010</td> <td>施工単位</td> <td>m³</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーンの 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> <td>巨 石 ①購 入 ②現地採取</td> <td>巨 石 の 径 (m) (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンの賃料補正（夜間補正作業）を行った場合は、労務費調整係数も入力する。 2. J 2条件で①を選択した場合は、巨石単価（Y-0259000）[円/個]を単価登録すること。また、J 2条件で②を選択した場合は、J 3条件を入力する必要はない。 3. J 3条件を入力する際は、巨石の径を「m」単位で、小数第2位を四捨五入し、第1位とする止めで入力すること。</p>		施工歩掛コード	WB322010	施工単位	m ³	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	ラフテレーンクレーンの 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外 (実数入力)	巨 石 ①購 入 ②現地採取	巨 石 の 径 (m) (実数入力)
施工歩掛コード	WB322010	施工単位	m ³																														
施工区分	入 力 条 件																																
各 種	J 1	J 2	J 3																														
	ラフテレーンクレーンの 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外 (実数入力)	巨 石 ①購 入 ②現地採取	巨 石 の 径 (m) (実数入力)																														
施工歩掛コード	WB322010	施工単位	m ³																														
施工区分	入 力 条 件																																
各 種	J 1	J 2	J 3																														
	ラフテレーンクレーンの 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外 (実数入力)	巨 石 ①購 入 ②現地採取	巨 石 の 径 (m) (実数入力)																														
積算上の注意事項			<p>記載の変更</p> <p>(控え頁)</p> <p>2/2</p>																														

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																											
	現 行	改 正																																																																												
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 プレキャスト基礎 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値) 〕25 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ (クローラ型) 〔標準型・排出ガス対策型 (2011年規制) 〕山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>・賃料 ・基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手 (特殊)</td> <td>基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 再生クラッシュラン RC-40</td> <td>基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 プレキャスト基礎 (材料費) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 プレキャスト基礎 (材料費) 積算条件区分一覧</p> <p style="text-align: center;">(積算単位: m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ブロック製品長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2,000mm</td></tr> <tr><td>3,300mm</td></tr> <tr><td>4,000mm</td></tr> <tr><td>5,000mm</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は、プレキャスト基礎ブロック、連結金具及びコンクリート以外の中詰材の材料費を含む。</p> <p>3-3 中詰コンクリート (材料費) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 中詰コンクリート (材料費) 積算条件区分一覧</p> <p style="text-align: center;">(積算単位: m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(表3.8)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、プレキャスト基礎ブロックの中詰コンクリートに適用し、使用量はプレキャスト基礎ブロック1m当りの必要量を計上する。 2. レディミクストコンクリートの使用量は、次式による。 使用量 (m3/m) = 設計量 (m3/m) × (1 + K) ……式3.1 K: ロス率</p> <p style="text-align: center;">表3.8 ロス率(K)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料</th> <th>ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミクストコンクリート</td> <td>+0.05</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">III-2-⑩-4</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値) 〕25 t 吊	賃料	K2 バックホウ (クローラ型) 〔標準型・排出ガス対策型 (2011年規制) 〕山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	・賃料 ・基礎砕石有りの場合	K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 運転手 (特殊)	基礎砕石有りの場合	材料	Z1 再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合	Z2 軽油 1.2号 バトロール給油	基礎砕石有りの場合	Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		ブロック製品長	2,000mm	3,300mm	4,000mm	5,000mm	生コンクリート規格	(表3.8)	材 料	ロス率	レディミクストコンクリート	+0.05	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 プレキャスト基礎 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値) 〕25 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ (クローラ型) 〔標準型・排出ガス対策型 (2014年規制) 〕山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>・賃料 ・基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手 (特殊)</td> <td>基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 再生クラッシュラン RC-40</td> <td>基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-3 中詰コンクリート (材料費) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 中詰コンクリート (材料費) 積算条件区分一覧</p> <p style="text-align: center;">(積算単位: m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(表3.40)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値) 〕25 t 吊	賃料	K2 バックホウ (クローラ型) 〔標準型・排出ガス対策型 (2014年規制) 〕山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	・賃料 ・基礎砕石有りの場合	K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 運転手 (特殊)	基礎砕石有りの場合	材料	Z1 再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合	Z2 軽油 1.2号 バトロール給油	基礎砕石有りの場合	Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		生コンクリート規格	(表3.40)	記載の変更
項目	代表機材規格	備考																																																																												
機械	K1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値) 〕25 t 吊	賃料																																																																												
	K2 バックホウ (クローラ型) 〔標準型・排出ガス対策型 (2011年規制) 〕山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	・賃料 ・基礎砕石有りの場合																																																																												
	K3 -																																																																													
労務	R1 普通作業員																																																																													
	R2 特殊作業員																																																																													
	R3 土木一般世話役																																																																													
	R4 運転手 (特殊)	基礎砕石有りの場合																																																																												
材料	Z1 再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合																																																																												
	Z2 軽油 1.2号 バトロール給油	基礎砕石有りの場合																																																																												
	Z3 -																																																																													
	Z4 -																																																																													
市場単価	S -																																																																													
ブロック製品長																																																																														
2,000mm																																																																														
3,300mm																																																																														
4,000mm																																																																														
5,000mm																																																																														
生コンクリート規格																																																																														
(表3.8)																																																																														
材 料	ロス率																																																																													
レディミクストコンクリート	+0.05																																																																													
項目	代表機材規格	備考																																																																												
機械	K1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値) 〕25 t 吊	賃料																																																																												
	K2 バックホウ (クローラ型) 〔標準型・排出ガス対策型 (2014年規制) 〕山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	・賃料 ・基礎砕石有りの場合																																																																												
	K3 -																																																																													
労務	R1 普通作業員																																																																													
	R2 特殊作業員																																																																													
	R3 土木一般世話役																																																																													
	R4 運転手 (特殊)	基礎砕石有りの場合																																																																												
材料	Z1 再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合																																																																												
	Z2 軽油 1.2号 バトロール給油	基礎砕石有りの場合																																																																												
	Z3 -																																																																													
	Z4 -																																																																													
市場単価	S -																																																																													
生コンクリート規格																																																																														
(表3.40)																																																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3																																																																											

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 <hr/> 現 行	備 考																																																																																			
現	行	改 正	備 考																																																																																			
<p style="text-align: center;">表3.9 生コンクリート規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">積算条件</th> <th colspan="3">区 分</th> </tr> <tr> <th>21-8-25 (20) (普通)</th> <th>24-8-40 (普通)</th> <th>24-8-40 (高炉)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="11">生コンクリート規格</td> <td>24-8-25 (20) (普通)</td> <td>4.5-2.5-40 (普通)</td> <td>21-12-40 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>27-8-25 (20) (普通)</td> <td>21-8-25 (20) (高炉)</td> <td>10-8-25 (早強)</td> </tr> <tr> <td>30-8-25 (20) (普通)</td> <td>24-8-25 (20) (高炉)</td> <td>21-8-25 (早強)</td> </tr> <tr> <td>40-8-25 (20) (普通)</td> <td>19.5-5-40 (高炉)</td> <td>24-8-25 (早強)</td> </tr> <tr> <td>18-8-40 (普通)</td> <td>19.5-8-40 (高炉)</td> <td>18-8-25 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>19.5-8-40 (普通)</td> <td>18-5-40 (高炉)</td> <td>21-5-80 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>21-8-40 (普通)</td> <td>21-5-40 (高炉)</td> <td>18-3-40 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>21-12-10 (普通)</td> <td>18-8-40 (高炉)</td> <td>21-3-40 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>22.5-8-40 (普通)</td> <td>21-8-40 (高炉)</td> <td>(各種)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4 中詰コンクリート打設 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 中詰コンクリート打設 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(表3.8)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、中詰コンクリートクレーン車打設及び養生等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 養生は、養生材の被覆、散水養生、被覆養生程度とする。 3. レディーミキストコンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.05)</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.11 中詰コンクリート打設 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">III-2-⑩-5</p>		積算条件	区 分			21-8-25 (20) (普通)	24-8-40 (普通)	24-8-40 (高炉)	生コンクリート規格	24-8-25 (20) (普通)	4.5-2.5-40 (普通)	21-12-40 (高炉)	27-8-25 (20) (普通)	21-8-25 (20) (高炉)	10-8-25 (早強)	30-8-25 (20) (普通)	24-8-25 (20) (高炉)	21-8-25 (早強)	40-8-25 (20) (普通)	19.5-5-40 (高炉)	24-8-25 (早強)	18-8-40 (普通)	19.5-8-40 (高炉)	18-8-25 (高炉)	19.5-8-40 (普通)	18-5-40 (高炉)	21-5-80 (高炉)	21-8-40 (普通)	21-5-40 (高炉)	18-3-40 (高炉)	21-12-10 (普通)	18-8-40 (高炉)	21-3-40 (高炉)	22.5-8-40 (普通)	21-8-40 (高炉)	(各種)	生コンクリート規格	(表3.8)	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t吊	賃料	K 2	-		K 3	-		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	-		材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2	-		Z 3	-		Z 4	-		市場単価	S	-		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>3-4 中詰コンクリート打設 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 中詰コンクリート打設 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(表3.8)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">記載の変更</p>	生コンクリート規格	(表3.8)	<p style="text-align: center;">(控え頁)</p> <p style="text-align: center;">2/3</p>
積算条件	区 分																																																																																					
	21-8-25 (20) (普通)	24-8-40 (普通)	24-8-40 (高炉)																																																																																			
生コンクリート規格	24-8-25 (20) (普通)	4.5-2.5-40 (普通)	21-12-40 (高炉)																																																																																			
	27-8-25 (20) (普通)	21-8-25 (20) (高炉)	10-8-25 (早強)																																																																																			
	30-8-25 (20) (普通)	24-8-25 (20) (高炉)	21-8-25 (早強)																																																																																			
	40-8-25 (20) (普通)	19.5-5-40 (高炉)	24-8-25 (早強)																																																																																			
	18-8-40 (普通)	19.5-8-40 (高炉)	18-8-25 (高炉)																																																																																			
	19.5-8-40 (普通)	18-5-40 (高炉)	21-5-80 (高炉)																																																																																			
	21-8-40 (普通)	21-5-40 (高炉)	18-3-40 (高炉)																																																																																			
	21-12-10 (普通)	18-8-40 (高炉)	21-3-40 (高炉)																																																																																			
	22.5-8-40 (普通)	21-8-40 (高炉)	(各種)																																																																																			
	生コンクリート規格																																																																																					
	(表3.8)																																																																																					
項目	代表機材規格		備考																																																																																			
機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t吊	賃料																																																																																			
	K 2	-																																																																																				
	K 3	-																																																																																				
労務	R 1	普通作業員																																																																																				
	R 2	特殊作業員																																																																																				
	R 3	土木一般世話役																																																																																				
	R 4	-																																																																																				
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																				
	Z 2	-																																																																																				
	Z 3	-																																																																																				
	Z 4	-																																																																																				
市場単価	S	-																																																																																				
生コンクリート規格																																																																																						
(表3.8)																																																																																						
積算上の注意事項																																																																																						

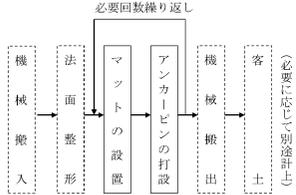
改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行	
------	------	----------------	--

現 行	改 正	備 考																																																																																																																																																																																																															
<p>(2) プレキャスト基礎 (材料費)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CR322121</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td colspan="3">J 1</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ブロック製品長 (表 4.2)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 基礎ブロック単価 (Y-0800005) [円/個] を単価登録すること。 2. 基礎ブロック単価には、連結金具及びブロック以外の中詰材の材料費を含む。</p> <p>(3) 中詰コンクリート (材料費)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB322122</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>中詰コンクリート設計量 (実数入力) (m3/m)</td> <td colspan="2">生コンクリート規格 (表 4.4)</td> </tr> </table> <p>(注) J 1 条件は、材料ロスを含まない数量を入力すること。また、夜間割増が必要な場合は、J 2 条件で◎を選択し、生コンクリート単価 (Y-0210000) [円/m3] に夜間割増額を考慮して単価登録すること。</p> <p style="text-align: center;">表 4.4 生コンクリート規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生コンクリート</th> <th>入力番号</th> <th>生コンクリート</th> <th>入力番号</th> <th>生コンクリート</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>21-8-25 (20) (普通)</td><td>①</td><td>24-8-40 (普通)</td><td>①</td><td>24-8-40 (高炉)</td><td>②</td></tr> <tr><td>24-8-25 (20) (#)</td><td>②</td><td>4.5-2.5-40 (#)</td><td>③</td><td>21-12-40 (#)</td><td>④</td></tr> <tr><td>27-8-25 (20) (#)</td><td>③</td><td>21-8-25 (20) (高炉)</td><td>④</td><td>40-8-25 (早強)</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>30-8-25 (20) (#)</td><td>④</td><td>24-8-25 (20) (#)</td><td>⑤</td><td>21-8-25 (#)</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>40-8-25 (20) (#)</td><td>⑤</td><td>19.5-5-40 (#)</td><td>⑥</td><td>24-8-25 (#)</td><td>⑦</td></tr> <tr><td>18-8-40 (#)</td><td>⑥</td><td>19.5-8-10 (#)</td><td>⑦</td><td>18-8-25 (高炉)</td><td>⑧</td></tr> <tr><td>19.5-8-10 (#)</td><td>⑦</td><td>18-5-40 (#)</td><td>⑧</td><td>21-5-80 (#)</td><td>⑨</td></tr> <tr><td>21-8-40 (#)</td><td>⑧</td><td>21-5-40 (#)</td><td>⑨</td><td>18-3-40 (#)</td><td>⑩</td></tr> <tr><td>21-12-40 (#)</td><td>④</td><td>18-8-40 (#)</td><td>⑩</td><td>21-3-40 (#)</td><td>⑪</td></tr> <tr><td>22.5-8-40 (#)</td><td>⑩</td><td>21-8-40 (#)</td><td>⑪</td><td>Y-0210000 (各種)</td><td>⑫</td></tr> </tbody> </table> <p>(4) 中詰コンクリート打設</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB322140</td> <td>施工単位</td> <td>m3</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート規格 (表 4.4)</td> <td colspan="2">ラフテレンクレーン 賃料補正係数 ① 標準 (1.0) ② 標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1 条件で◎を選択した場合は、生コンクリート単価 (Y-0210000) [円/m3] を単価登録すること。 2. コンクリートの夜間割増額が必要な場合は、J 1 条件で◎を選択しコンクリート (Y-0210000) [円/m3] に夜間割増額を考慮して単価登録すること。また、労務費調整係数も入力すること。 3. ラフテレンクレーンの賃料補正 (夜間作業) を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。 4. 本コードは、コンクリートの材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。</p> <p style="text-align: center;">III-2-⑩-7</p>	パッケージコード	CR322121	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1			ブロック製品長 (表 4.2)			パッケージコード	CB322122	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		中詰コンクリート設計量 (実数入力) (m3/m)	生コンクリート規格 (表 4.4)		生コンクリート	入力番号	生コンクリート	入力番号	生コンクリート	入力番号	21-8-25 (20) (普通)	①	24-8-40 (普通)	①	24-8-40 (高炉)	②	24-8-25 (20) (#)	②	4.5-2.5-40 (#)	③	21-12-40 (#)	④	27-8-25 (20) (#)	③	21-8-25 (20) (高炉)	④	40-8-25 (早強)	⑤	30-8-25 (20) (#)	④	24-8-25 (20) (#)	⑤	21-8-25 (#)	⑥	40-8-25 (20) (#)	⑤	19.5-5-40 (#)	⑥	24-8-25 (#)	⑦	18-8-40 (#)	⑥	19.5-8-10 (#)	⑦	18-8-25 (高炉)	⑧	19.5-8-10 (#)	⑦	18-5-40 (#)	⑧	21-5-80 (#)	⑨	21-8-40 (#)	⑧	21-5-40 (#)	⑨	18-3-40 (#)	⑩	21-12-40 (#)	④	18-8-40 (#)	⑩	21-3-40 (#)	⑪	22.5-8-40 (#)	⑩	21-8-40 (#)	⑪	Y-0210000 (各種)	⑫	パッケージコード	CB322140	施工単位	m3	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		生コンクリート規格 (表 4.4)	ラフテレンクレーン 賃料補正係数 ① 標準 (1.0) ② 標準以外 (実数入力)		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(3) 中詰コンクリート (材料費)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB322122</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>中詰コンクリート設計量 (実数入力) (m3/m)</td> <td colspan="2">生コンクリート規格 (表 4.45)</td> </tr> </table> <p>(注) J 1 条件は、材料ロスを含まない数量を入力すること。また、夜間割増が必要な場合は、J 2 条件で◎を選択し、生コンクリート単価 (Y-0210000) [円/m3] に夜間割増額を考慮して単価登録すること。</p> <p style="text-align: center;">表 4.45 生コンクリート規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生コンクリート</th> <th>入力番号</th> <th>生コンクリート</th> <th>入力番号</th> <th>生コンクリート</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>21-8-25 (20) (普通)</td><td>①</td><td>24-8-40 (普通)</td><td>①</td><td>24-8-40 (高炉)</td><td>②</td></tr> <tr><td>24-8-25 (20) (#)</td><td>②</td><td>4.5-2.5-40 (#)</td><td>③</td><td>21-12-40 (#)</td><td>④</td></tr> <tr><td>27-8-25 (20) (#)</td><td>③</td><td>21-8-25 (20) (高炉)</td><td>④</td><td>40-8-25 (早強)</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>30-8-25 (20) (#)</td><td>④</td><td>24-8-25 (20) (#)</td><td>⑤</td><td>21-8-25 (#)</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>40-8-25 (20) (#)</td><td>⑤</td><td>19.5-5-40 (#)</td><td>⑥</td><td>24-8-25 (#)</td><td>⑦</td></tr> <tr><td>18-8-40 (#)</td><td>⑥</td><td>19.5-8-10 (#)</td><td>⑦</td><td>18-8-25 (高炉)</td><td>⑧</td></tr> <tr><td>19.5-8-10 (#)</td><td>⑦</td><td>18-5-40 (#)</td><td>⑧</td><td>21-5-80 (#)</td><td>⑨</td></tr> <tr><td>21-8-40 (#)</td><td>⑧</td><td>21-5-40 (#)</td><td>⑨</td><td>18-3-40 (#)</td><td>⑩</td></tr> <tr><td>21-12-40 (#)</td><td>④</td><td>18-8-40 (#)</td><td>⑩</td><td>21-3-40 (#)</td><td>⑪</td></tr> <tr><td>22.5-8-40 (#)</td><td>⑩</td><td>21-8-40 (#)</td><td>⑪</td><td>Y-0210000 (各種)</td><td>⑫</td></tr> </tbody> </table> <p>(4) 中詰コンクリート打設</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB322140</td> <td>施工単位</td> <td>m3</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート規格 (表 4.45)</td> <td colspan="2">ラフテレンクレーン 賃料補正係数 ① 標準 (1.0) ② 標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1 条件で◎を選択した場合は、生コンクリート単価 (Y-0210000) [円/m3] を単価登録すること。 2. コンクリートの夜間割増額が必要な場合は、J 1 条件で◎を選択しコンクリート (Y-0210000) [円/m3] に夜間割増額を考慮して単価登録すること。また、労務費調整係数も入力すること。 3. ラフテレンクレーンの賃料補正 (夜間作業) を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。 4. 本コードは、コンクリートの材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。</p>	パッケージコード	CB322122	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		中詰コンクリート設計量 (実数入力) (m3/m)	生コンクリート規格 (表 4.45)		生コンクリート	入力番号	生コンクリート	入力番号	生コンクリート	入力番号	21-8-25 (20) (普通)	①	24-8-40 (普通)	①	24-8-40 (高炉)	②	24-8-25 (20) (#)	②	4.5-2.5-40 (#)	③	21-12-40 (#)	④	27-8-25 (20) (#)	③	21-8-25 (20) (高炉)	④	40-8-25 (早強)	⑤	30-8-25 (20) (#)	④	24-8-25 (20) (#)	⑤	21-8-25 (#)	⑥	40-8-25 (20) (#)	⑤	19.5-5-40 (#)	⑥	24-8-25 (#)	⑦	18-8-40 (#)	⑥	19.5-8-10 (#)	⑦	18-8-25 (高炉)	⑧	19.5-8-10 (#)	⑦	18-5-40 (#)	⑧	21-5-80 (#)	⑨	21-8-40 (#)	⑧	21-5-40 (#)	⑨	18-3-40 (#)	⑩	21-12-40 (#)	④	18-8-40 (#)	⑩	21-3-40 (#)	⑪	22.5-8-40 (#)	⑩	21-8-40 (#)	⑪	Y-0210000 (各種)	⑫	パッケージコード	CB322140	施工単位	m3	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		生コンクリート規格 (表 4.45)	ラフテレンクレーン 賃料補正係数 ① 標準 (1.0) ② 標準以外 (実数入力)		<p style="text-align: center;">記載の変更</p> <p style="text-align: center;">記載の変更</p> <p style="text-align: center;">記載の変更</p>
パッケージコード	CR322121	施工単位	m																																																																																																																																																																																																														
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																																																
各 種	J 1																																																																																																																																																																																																																
	ブロック製品長 (表 4.2)																																																																																																																																																																																																																
パッケージコード	CB322122	施工単位	m																																																																																																																																																																																																														
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																																																
各 種	J 1	J 2																																																																																																																																																																																																															
	中詰コンクリート設計量 (実数入力) (m3/m)	生コンクリート規格 (表 4.4)																																																																																																																																																																																																															
生コンクリート	入力番号	生コンクリート	入力番号	生コンクリート	入力番号																																																																																																																																																																																																												
21-8-25 (20) (普通)	①	24-8-40 (普通)	①	24-8-40 (高炉)	②																																																																																																																																																																																																												
24-8-25 (20) (#)	②	4.5-2.5-40 (#)	③	21-12-40 (#)	④																																																																																																																																																																																																												
27-8-25 (20) (#)	③	21-8-25 (20) (高炉)	④	40-8-25 (早強)	⑤																																																																																																																																																																																																												
30-8-25 (20) (#)	④	24-8-25 (20) (#)	⑤	21-8-25 (#)	⑥																																																																																																																																																																																																												
40-8-25 (20) (#)	⑤	19.5-5-40 (#)	⑥	24-8-25 (#)	⑦																																																																																																																																																																																																												
18-8-40 (#)	⑥	19.5-8-10 (#)	⑦	18-8-25 (高炉)	⑧																																																																																																																																																																																																												
19.5-8-10 (#)	⑦	18-5-40 (#)	⑧	21-5-80 (#)	⑨																																																																																																																																																																																																												
21-8-40 (#)	⑧	21-5-40 (#)	⑨	18-3-40 (#)	⑩																																																																																																																																																																																																												
21-12-40 (#)	④	18-8-40 (#)	⑩	21-3-40 (#)	⑪																																																																																																																																																																																																												
22.5-8-40 (#)	⑩	21-8-40 (#)	⑪	Y-0210000 (各種)	⑫																																																																																																																																																																																																												
パッケージコード	CB322140	施工単位	m3																																																																																																																																																																																																														
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																																																
各 種	J 1	J 2																																																																																																																																																																																																															
	生コンクリート規格 (表 4.4)	ラフテレンクレーン 賃料補正係数 ① 標準 (1.0) ② 標準以外 (実数入力)																																																																																																																																																																																																															
パッケージコード	CB322122	施工単位	m																																																																																																																																																																																																														
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																																																
各 種	J 1	J 2																																																																																																																																																																																																															
	中詰コンクリート設計量 (実数入力) (m3/m)	生コンクリート規格 (表 4.45)																																																																																																																																																																																																															
生コンクリート	入力番号	生コンクリート	入力番号	生コンクリート	入力番号																																																																																																																																																																																																												
21-8-25 (20) (普通)	①	24-8-40 (普通)	①	24-8-40 (高炉)	②																																																																																																																																																																																																												
24-8-25 (20) (#)	②	4.5-2.5-40 (#)	③	21-12-40 (#)	④																																																																																																																																																																																																												
27-8-25 (20) (#)	③	21-8-25 (20) (高炉)	④	40-8-25 (早強)	⑤																																																																																																																																																																																																												
30-8-25 (20) (#)	④	24-8-25 (20) (#)	⑤	21-8-25 (#)	⑥																																																																																																																																																																																																												
40-8-25 (20) (#)	⑤	19.5-5-40 (#)	⑥	24-8-25 (#)	⑦																																																																																																																																																																																																												
18-8-40 (#)	⑥	19.5-8-10 (#)	⑦	18-8-25 (高炉)	⑧																																																																																																																																																																																																												
19.5-8-10 (#)	⑦	18-5-40 (#)	⑧	21-5-80 (#)	⑨																																																																																																																																																																																																												
21-8-40 (#)	⑧	21-5-40 (#)	⑨	18-3-40 (#)	⑩																																																																																																																																																																																																												
21-12-40 (#)	④	18-8-40 (#)	⑩	21-3-40 (#)	⑪																																																																																																																																																																																																												
22.5-8-40 (#)	⑩	21-8-40 (#)	⑪	Y-0210000 (各種)	⑫																																																																																																																																																																																																												
パッケージコード	CB322140	施工単位	m3																																																																																																																																																																																																														
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																																																
各 種	J 1	J 2																																																																																																																																																																																																															
	生コンクリート規格 (表 4.45)	ラフテレンクレーン 賃料補正係数 ① 標準 (1.0) ② 標準以外 (実数入力)																																																																																																																																																																																																															
積算上の注意事項		(控え頁) 3/3																																																																																																																																																																																																															

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																															
	現 行	改 正																																																																
	<p>3. 施工パッケージ 3-1 かごマット設置(スロープ型) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 かごマット設置(スロープ型) 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>かご厚さ</th> <th>かご本体材質</th> <th>詰石種類</th> <th>詰石規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">t=30cm</td> <td rowspan="3">亜鉛アルミメッキ</td> <td rowspan="2">栗石</td> <td>径5~15cm</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">割栗石</td> <td>径5~15cm</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">t=50cm</td> <td rowspan="3">亜鉛アルミメッキ</td> <td rowspan="2">栗石</td> <td>径5~15cm</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">割栗石</td> <td>径15~20cm</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各種</td> <td rowspan="2">栗石</td> <td>径15~20cm</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>割栗石</td> <td>径15~20cm</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、かごマット(スロープ型)の設置、詰石、吸出し防止材設置、補強材設置、法面整形・床格えの他、補強材(単管パイプ、鉄筋等)、消耗材料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 20m程度の現場内小運搬を含む。 3. 吸出し防止材は厚さ10mmを標準とする。 4. 中詰用石材、吸出し防止材の材料ロスを含む。標準ロス率は、中詰用石材が+0.08、吸出し防止材が+0.07とする。 5. 中詰用石材の標準使用量は、かごマット容積の90%とする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 かごマット設置(スロープ型) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 =</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 =</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>Z1 かごマット(スロープ型) t=30cm メッキ鉄線</td> <td>かご厚さがt=30cmの場合</td> </tr> <tr> <td>かごマット(スロープ型) t=50cm メッキ鉄線</td> <td>かご厚さがt=50cmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z2 割栗石 径50~150mm</td> <td>かご厚さがt=30cmの場合</td> </tr> <tr> <td>割栗石 径150~200mm</td> <td>かご厚さがt=50cmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 =</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S =</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	かご厚さ	かご本体材質	詰石種類	詰石規格	t=30cm	亜鉛アルミメッキ	栗石	径5~15cm	各種	割栗石	径5~15cm	各種	各種	t=50cm	亜鉛アルミメッキ	栗石	径5~15cm	各種	割栗石	径15~20cm	各種	各種	各種	栗石	径15~20cm	各種	割栗石	径15~20cm	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)		K2 =		K3 =		労務	R1 普通作業員		R2 運転手(特殊)		R3 特殊作業員		R4 土木一般世話役		材料	Z1 かごマット(スロープ型) t=30cm メッキ鉄線	かご厚さがt=30cmの場合	かごマット(スロープ型) t=50cm メッキ鉄線	かご厚さがt=50cmの場合	Z2 割栗石 径50~150mm	かご厚さがt=30cmの場合	割栗石 径150~200mm	かご厚さがt=50cmの場合	Z3 軽油 1.2号 バトロール給油		Z4 =		市場単価	S =		<p>現行どおり</p>	<p>記載の変更</p>
かご厚さ	かご本体材質	詰石種類	詰石規格																																																															
t=30cm	亜鉛アルミメッキ	栗石	径5~15cm																																																															
			各種																																																															
		割栗石	径5~15cm																																																															
	各種																																																																	
	各種																																																																	
	t=50cm	亜鉛アルミメッキ	栗石	径5~15cm																																																														
各種																																																																		
割栗石			径15~20cm																																																															
		各種																																																																
		各種																																																																
各種		栗石	径15~20cm																																																															
	各種																																																																	
	割栗石	径15~20cm																																																																
項目	代表機材規格	備考																																																																
機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)																																																																	
	K2 =																																																																	
	K3 =																																																																	
労務	R1 普通作業員																																																																	
	R2 運転手(特殊)																																																																	
	R3 特殊作業員																																																																	
	R4 土木一般世話役																																																																	
材料	Z1 かごマット(スロープ型) t=30cm メッキ鉄線	かご厚さがt=30cmの場合																																																																
	かごマット(スロープ型) t=50cm メッキ鉄線	かご厚さがt=50cmの場合																																																																
	Z2 割栗石 径50~150mm	かご厚さがt=30cmの場合																																																																
	割栗石 径150~200mm	かご厚さがt=50cmの場合																																																																
	Z3 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																	
Z4 =																																																																		
市場単価	S =																																																																	
III-2-①-2																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																															

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																												
	<p>5. 材料使用数量</p> <p>中詰用石材, 吸出し防止材の使用数量は, 次式による。</p> <p>中詰用石材の使用数量 (m³) = 設計数量 (m³) × (1 + K) …… 式 5. 1 K: ロス率 設計数量は, かごマット容積の 90% を標準とする。 なお, これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>吸出し防止材の使用数量 (m²) = 設計数量 (m²) × (1 + K) …… 式 5. 2 K: ロス率</p> <p>表 5. 1 ロス率(K)</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>中詰用石材</th> <th>吸出し防止材</th> </tr> <tr> <td>ロス率</td> <td>+0.09</td> <td>+0.16</td> </tr> </table> <p>(注) 中詰用石材のロス率は石径が 5~20cm の場合であり, 他の石径の場合は別途考慮する。</p> <p>6. 単 価 表</p> <p>(1) かごマット工 (多段積型) 100 m² 当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB322220</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 4.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">かごマット (多段積型)</td> <td>最上部 [A-a, B-a, C-a]</td> <td>m</td> <td>$200 \times \left(\frac{1}{n+c} \right)$</td> <td>n: 積段数 [○-a, ○-b] c: 根固段数 [○-c]</td> </tr> <tr> <td>一般部 [A-b, B-b, C-a]</td> <td>〃</td> <td>$200 \times \left(\frac{n-1}{n+c} \right)$</td> <td>[] : かごタイプ</td> </tr> <tr> <td>根固め部 [A-c, B-c, C-c]</td> <td>〃</td> <td>$200 \times \left(\frac{c}{n+c} \right)$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中 詰 用 石 材</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式 5.1, 表 5.1</td> </tr> <tr> <td>吸 出 し 防 止 材</td> <td>t=10mm</td> <td>m²</td> <td></td> <td>式 5.2, 表 5.1</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td> <td>標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.45 m²(平積 0.35 m²) 吊能力 2.9t</td> <td>日</td> <td></td> <td>表 4.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 4.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) かごマット (多段積型) において最上部, 根固め部の数量は小数第 2 位を四捨五入し, 第 1 位とする。 なお, 一般部の数量は 200m から最上部, 根固め部の数量を差し引いた値とする。</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.45 m²(平積 0.35 m²) 吊能力 2.9t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →31 機械賃料数量→1.20</td> </tr> </table>	材料名	中詰用石材	吸出し防止材	ロス率	+0.09	+0.16			施工歩掛コード	WB322220	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表 4.1	特殊作業員		人		〃	普通作業員		人		〃	かごマット (多段積型)	最上部 [A-a, B-a, C-a]	m	$200 \times \left(\frac{1}{n+c} \right)$	n: 積段数 [○-a, ○-b] c: 根固段数 [○-c]	一般部 [A-b, B-b, C-a]	〃	$200 \times \left(\frac{n-1}{n+c} \right)$	[] : かごタイプ	根固め部 [A-c, B-c, C-c]	〃	$200 \times \left(\frac{c}{n+c} \right)$		中 詰 用 石 材		m ³		式 5.1, 表 5.1	吸 出 し 防 止 材	t=10mm	m ²		式 5.2, 表 5.1	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.45 m ² (平積 0.35 m ²) 吊能力 2.9t	日		表 4.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表 4.1	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.45 m ² (平積 0.35 m ²) 吊能力 2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →31 機械賃料数量→1.20	<p>現行どおり</p>	<p>記載の変更 (歩掛 改定に伴う)</p>
材料名	中詰用石材	吸出し防止材																																																																													
ロス率	+0.09	+0.16																																																																													
		施工歩掛コード	WB322220																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																											
土木一般世話役		人		表 4.1																																																																											
特殊作業員		人		〃																																																																											
普通作業員		人		〃																																																																											
かごマット (多段積型)	最上部 [A-a, B-a, C-a]	m	$200 \times \left(\frac{1}{n+c} \right)$	n: 積段数 [○-a, ○-b] c: 根固段数 [○-c]																																																																											
	一般部 [A-b, B-b, C-a]	〃	$200 \times \left(\frac{n-1}{n+c} \right)$	[] : かごタイプ																																																																											
	根固め部 [A-c, B-c, C-c]	〃	$200 \times \left(\frac{c}{n+c} \right)$																																																																												
中 詰 用 石 材		m ³		式 5.1, 表 5.1																																																																											
吸 出 し 防 止 材	t=10mm	m ²		式 5.2, 表 5.1																																																																											
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.45 m ² (平積 0.35 m ²) 吊能力 2.9t	日		表 4.1 機械賃料																																																																											
諸 雑 費		式	1	表 4.1																																																																											
計																																																																															
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																												
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.45 m ² (平積 0.35 m ²) 吊能力 2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →31 機械賃料数量→1.20																																																																												
積算上の注意事項	III-2-⑩-6		(控え頁) 1/1																																																																												

工 種	ブロックマット工
-----	----------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																												
	<p>⑫ ブロックマット工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、法勾配1:1.5~1:3.0で、マット長さ2.0~8.0mのブロックマット工に適用する。 また、ブロックマットの幅、種類にかかわらず適用出来る。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本非掛に対応しているのは実線部分である。 図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="286 853 896 1013"> <caption>表3.1 機種の選定</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>最大法長 5.5m以下</th> <th>最大法長 5.5mを越え18m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m(平積0.6m) 吊能力2.9t</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t吊</td> <td>台</td> <td>—</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バックホウ(クローラ型)及びラフテレーンクレーンは賃料とする。 2. 現場条件により、上表により難い場合は別途考慮する。 3. 最大法長とは、1 施工現場において最大となる施工法面の長さである。</p> <p>4. 施工歩掛 4-1 日当り編成人員 日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="421 1157 728 1220"> <caption>表4.1 日当り編成人員 (人/日)</caption> <thead> <tr> <th>土 木 一 般 世 話 役</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5 (3)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 最大法長5.5m(適用マット長さ)以下で、バックホウ施工の場合は、()内の数値を計上する。</p> <p>III-2-⑫-1</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量		摘 要	最大法長 5.5m以下	最大法長 5.5mを越え18m以下	バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m(平積0.6m) 吊能力2.9t	台	1	—		ラフテレーン クレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t吊	台	—	1		土 木 一 般 世 話 役	普 通 作 業 員	1	5 (3)	<p>⑫⑪ ブロックマット工</p> <p>現行どおり</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="1187 853 1792 1029"> <caption>表3.1 機種の選定</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>最大法長 5.5m以下</th> <th>最大法長 5.5mを越え18m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m(平積0.6m) 吊能力2.9t</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値 2014年規制) 25t吊</td> <td>台</td> <td>—</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バックホウ(クローラ型)及びラフテレーンクレーンは賃料とする。 2. 現場条件により、上表により難い場合は別途考慮する。 3. 最大法長とは、1 施工現場において最大となる施工法面の長さである。</p> <p>現行どおり</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量		摘 要	最大法長 5.5m以下	最大法長 5.5mを越え18m以下	バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m(平積0.6m) 吊能力2.9t	台	1	—		ラフテレーン クレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値 2014年規制) 25t吊	台	—	1		<p>記載の変更(歩掛 改定に伴う)</p>
機 械 名	規 格				単 位	数 量		摘 要																																							
		最大法長 5.5m以下	最大法長 5.5mを越え18m以下																																												
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m(平積0.6m) 吊能力2.9t	台	1	—																																											
ラフテレーン クレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t吊	台	—	1																																											
土 木 一 般 世 話 役	普 通 作 業 員																																														
1	5 (3)																																														
機 械 名	規 格	単 位	数 量		摘 要																																										
			最大法長 5.5m以下	最大法長 5.5mを越え18m以下																																											
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m(平積0.6m) 吊能力2.9t	台	1	—																																											
ラフテレーン クレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値 2014年規制) 25t吊	台	—	1																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																												

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																									
現 行		改 正																																																																																									
<p>5. 単 価 表</p> <p>(1) ブロックマット工 (最大法長 5.5m 以下) 100 m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工歩掛コード</th> <th colspan="2">WB323010</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表 4.1, 表 4.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>3×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ブロックマット</td> <td></td> <td>m²</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンカーピン</td> <td></td> <td>本</td> <td></td> <td>表 4.3</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型) 運転</td> <td>標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³) 吊能力 2.9t</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表 4.2 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 4.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量 (m²/日)</p>		施工歩掛コード		WB323010		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1×100/D	表 4.1, 表 4.2	普通作業員		人	3×100/D	〃	ブロックマット		m ²	100		アンカーピン		本		表 4.3	バックホウ (クローラ型) 運転	標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³) 吊能力 2.9t	日	1×100/D	表 4.2 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表 4.4	計					<p>現行どおり</p>																																													
施工歩掛コード		WB323010																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
土木一般世話役		人	1×100/D	表 4.1, 表 4.2																																																																																							
普通作業員		人	3×100/D	〃																																																																																							
ブロックマット		m ²	100																																																																																								
アンカーピン		本		表 4.3																																																																																							
バックホウ (クローラ型) 運転	標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³) 吊能力 2.9t	日	1×100/D	表 4.2 機械賃料																																																																																							
諸 雑 費		式	1	表 4.4																																																																																							
計																																																																																											
<p>(2) ブロックマット工 (最大法長 5.5m を超え 18m 以下) 100 m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工歩掛コード</th> <th colspan="2">WB323020</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表 4.1, 表 4.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>5×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ブロックマット</td> <td></td> <td>m²</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンカーピン</td> <td></td> <td>本</td> <td></td> <td>表 4.3</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t 吊</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表 4.2 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 4.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量 (m²/日)</p>		施工歩掛コード		WB323020		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1×100/D	表 4.1, 表 4.2	普通作業員		人	5×100/D	〃	ブロックマット		m ²	100		アンカーピン		本		表 4.3	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t 吊	日	1×100/D	表 4.2 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表 4.4	計					<p>(2) ブロックマット工 (最大法長 5.5m を超え 18m 以下) 100 m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工歩掛コード</th> <th colspan="2">WB323020</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表 4.1, 表 4.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>5×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ブロックマット</td> <td></td> <td>m²</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンカーピン</td> <td></td> <td>本</td> <td></td> <td>表 4.3</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値 2014年規制) 25t 吊</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表 4.2 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 4.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量 (m²/日)</p>		施工歩掛コード		WB323020		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1×100/D	表 4.1, 表 4.2	普通作業員		人	5×100/D	〃	ブロックマット		m ²	100		アンカーピン		本		表 4.3	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値 2014年規制) 25t 吊	日	1×100/D	表 4.2 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表 4.4	計				
施工歩掛コード		WB323020																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
土木一般世話役		人	1×100/D	表 4.1, 表 4.2																																																																																							
普通作業員		人	5×100/D	〃																																																																																							
ブロックマット		m ²	100																																																																																								
アンカーピン		本		表 4.3																																																																																							
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t 吊	日	1×100/D	表 4.2 機械賃料																																																																																							
諸 雑 費		式	1	表 4.4																																																																																							
計																																																																																											
施工歩掛コード		WB323020																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																							
土木一般世話役		人	1×100/D	表 4.1, 表 4.2																																																																																							
普通作業員		人	5×100/D	〃																																																																																							
ブロックマット		m ²	100																																																																																								
アンカーピン		本		表 4.3																																																																																							
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値 2014年規制) 25t 吊	日	1×100/D	表 4.2 機械賃料																																																																																							
諸 雑 費		式	1	表 4.4																																																																																							
計																																																																																											
<p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.8 m³(平積 0.6 m³) 吊能力 2.9t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →81 機械賃料数量→1.18</td> </tr> </tbody> </table>		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³) 吊能力 2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →81 機械賃料数量→1.18	<p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.8 m³(平積 0.6 m³) 吊能力 2.9t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →8177 機械賃料数量→1.18</td> </tr> </tbody> </table>		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³) 吊能力 2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 → 81 77 機械賃料数量→1.18																																																																								
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																								
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³) 吊能力 2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →81 機械賃料数量→1.18																																																																																								
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																								
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³) 吊能力 2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 → 81 77 機械賃料数量→1.18																																																																																								
III-2-Q3-3																																																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																																																																								

記載の変更(歩掛
改定に伴う)

工 種	野芝種子吹付工
-----	---------

改 正 理 由	廃止	改 正 現 行	備 考
現	行	改	正
<p>⑬ 野芝種子吹付工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川工事における野芝種子吹付に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 野芝種子吹付 (1) 河川工事（堤防、高水敷、低水部法面及びこれに準ずる箇所）の法面保護工のうち、種子吹付機を使用して野芝種子、肥料等を吹付ける作業。</p> <p>1-1-2 被覆シート張 (1) 河川工事（堤防、高水敷、低水部法面及びこれに準ずる箇所）の法面保護工のうち、長繊維不織布、ポリエチレンフィルム等で被覆する作業。</p> <p>1-1-3 養生（散水養生） (1) 河川工事（堤防、高水敷、低水部法面及びこれに準ずる箇所）の法面保護工のうち、養生材を吹付ける作業。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[法面整形] --> B[野芝種子吹付] B --> C[被覆シート張] C --> D[養生散水吹付] </pre> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 土壌改良剤、土壌安定剤の有無にかかわらず適用出来る。 3. 土壌改良剤は、pH値4未満（H₂O）であるような酸性が強い場合に使用する。</p> <p style="text-align: center;">III-2-⑬-1</p>	<p style="text-align: center;">削除</p>	<p style="text-align: center;">歩掛の廃止</p>	<p style="text-align: right;">(控え頁)</p> <p style="text-align: right;">1/4</p>
積算上の注意事項			

改正理由	現 行	改 正	備 考																																																		
	<p>廃止</p>	<p><u>改 正</u> 現 行</p>																																																			
	<p>3. 施工パッケージ 3-1 野芝種子吹付 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 野芝種子吹付 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">養生材の有無</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">有り</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">無し</td></tr> </table> <p>(注) 1. 法面部への野芝種子、肥料、養生材、土壌改良剤、土壌安定剤の吹付け、小型滴巻ポンプ等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 法面清掃、被覆シート張、養生（散水養生）は含まない。 3. 織物ネット、法面整形、ラス張は含まない。 4. 吹付材料の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.20） 5. 吹付材料の配合は、表3.2を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 吹付材料の配合 (100m² 当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>吹 付 材 料</th> <th>配 合</th> <th>吹 付 材 料</th> <th>配 合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 子 (野 芝)</td> <td style="text-align: center;">2kg</td> <td>^(注)土壌改良剤</td> <td style="text-align: center;">4kg</td> </tr> <tr> <td>肥 料</td> <td style="text-align: center;">10kg</td> <td>土壌安定剤</td> <td style="text-align: center;">0.1kg</td> </tr> <tr> <td>養 生 材</td> <td style="text-align: center;">20kg</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 土壌改良剤は、pH値4未満（H₂O）であるような酸性が強い場合に使用する。</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 野芝種子吹付 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 種子吹付機[車載式(種子専用)] タンク容量2.5m³ 搭載トラック3t車</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 トラック[普通型] 4.0~4.5t積</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 法面工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 運転手(一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 種子(野芝) 発芽促進剤処理済</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 肥料 高度化成肥料 N:P:K=15:15:15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 軽油1.2号 ハトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">III-2-⑬-2</p>	養生材の有無	有り	無し	吹 付 材 料	配 合	吹 付 材 料	配 合	種 子 (野 芝)	2kg	^(注) 土壌改良剤	4kg	肥 料	10kg	土壌安定剤	0.1kg	養 生 材	20kg	—	—	項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1 種子吹付機[車載式(種子専用)] タンク容量2.5m ³ 搭載トラック3t車		K 2 トラック[普通型] 4.0~4.5t積		K 3 —		労務	R 1 法面工		R 2 普通作業員		R 3 運転手(一般)		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1 種子(野芝) 発芽促進剤処理済		Z 2 肥料 高度化成肥料 N:P:K=15:15:15		Z 3 軽油1.2号 ハトロール給油		Z 4 —		市場単価	S —		<p>削除</p>	<p>歩掛の廃止</p>
養生材の有無																																																					
有り																																																					
無し																																																					
吹 付 材 料	配 合	吹 付 材 料	配 合																																																		
種 子 (野 芝)	2kg	^(注) 土壌改良剤	4kg																																																		
肥 料	10kg	土壌安定剤	0.1kg																																																		
養 生 材	20kg	—	—																																																		
項目	代表機労材規格	備考																																																			
機械	K 1 種子吹付機[車載式(種子専用)] タンク容量2.5m ³ 搭載トラック3t車																																																				
	K 2 トラック[普通型] 4.0~4.5t積																																																				
	K 3 —																																																				
労務	R 1 法面工																																																				
	R 2 普通作業員																																																				
	R 3 運転手(一般)																																																				
	R 4 土木一般世話役																																																				
材料	Z 1 種子(野芝) 発芽促進剤処理済																																																				
	Z 2 肥料 高度化成肥料 N:P:K=15:15:15																																																				
	Z 3 軽油1.2号 ハトロール給油																																																				
	Z 4 —																																																				
市場単価	S —																																																				
積算上の注意事項			<p>(控え頁) 2/4</p>																																																		

改正理由	廃止	改正																																													
		現 行	備 考																																												
	<p>3-2 被覆シート張</p> <p>(1) 条件区分 被覆シート張における積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。 (注) 1. 被覆シート張は、種子吹付施工後、風による種子の飛散や降雨等によるエロージョン等を防止するため、長繊維不織布、ポリエチレンフィルム等を被覆する作業等、その施工に要する全ての労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 被覆シートの材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.25）</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 被覆シート張 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>法面工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>被覆シート 長繊維不織布 245N/5cm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">III-2-⑬-3</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	法面工		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		材料	Z 1	被覆シート 長繊維不織布 245N/5cm		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>削除</p>	<p>歩掛の廃止</p>
項目	代表機材規格		備考																																												
機械	K 1	—																																													
	K 2	—																																													
	K 3	—																																													
労務	R 1	法面工																																													
	R 2	普通作業員																																													
	R 3	土木一般世話役																																													
	R 4	—																																													
材料	Z 1	被覆シート 長繊維不織布 245N/5cm																																													
	Z 2	—																																													
	Z 3	—																																													
	Z 4	—																																													
市場単価	S	—																																													
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>3/4</p>																																												

改正理由	廃止	改正 — 現行																																	
現 行		改 正																																	
<p>4. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 野芝種子吹付</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB322310</td> <td>施工単位</td> <td>m2</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">J 1</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td colspan="3">養生材の有無</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">① 有り</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">② 無し</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 種子(野芝)単価(Y-1502101) [円/kg]、肥料単価(Y-1512000) [円/kg]を単価登録すること。 2. 法面整形が必要な場合は、「第II編第2章①-1 法面整形工 (CB220110)」により別途計上する。 3. 本コードは、吹付材料の材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。</p> <p>(2) 被覆シート張</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB322320</td> <td>施工単位</td> <td>m2</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 被覆シート単価(Y-0562000) [円/m2]を単価登録すること。 2. 本コードは、被覆シートの材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。</p> <p>(3) 養生(散水養生)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB322330</td> <td>施工単位</td> <td>m2</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">III-2-⑬-4</p>		パッケージコード	CB322310	施工単位	m2	施工区分	入 力 条 件				J 1			各 種	養生材の有無				① 有り				② 無し			パッケージコード	CB322320	施工単位	m2	パッケージコード	CB322330	施工単位	m2	→ 削除	
パッケージコード	CB322310	施工単位	m2																																
施工区分	入 力 条 件																																		
	J 1																																		
各 種	養生材の有無																																		
	① 有り																																		
	② 無し																																		
パッケージコード	CB322320	施工単位	m2																																
パッケージコード	CB322330	施工単位	m2																																
		備 考																																	
		歩掛の廃止																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 4/4																																

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考																																																																		
	現 行	改 正																																																																			
	<p style="text-align: center;">図 3 - 1</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <caption>表3.2 袋詰玉石 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m³(平積 0.6 m³) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 25t 吊</td> <td>・賃料 ・袋詰玉石用袋材が 2t 用かつ掘付深さ 4m を超え 9 m 以下又は作業半径 5 m を超え 18 m 以下の場合 ・袋詰玉石用袋材が 3t 用の場合</td> </tr> <tr> <td>K3 ー</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>Z1 袋詰玉石用袋材 2t 用(長期性能型)</td> <td>袋詰玉石用袋材規格が 2t 用の場合</td> </tr> <tr> <td>Z1 袋詰玉石用袋材 3t 用(長期性能型)</td> <td>袋詰玉石用袋材規格が 3t 用の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 中詰材 割栗石 150~200mm</td> <td>中詰材を購入する場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 ー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S ー</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">III-2-⑩-2</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6 m ³) 吊能力 2.9t	賃料	K2 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・袋詰玉石用袋材が 2t 用かつ掘付深さ 4m を超え 9 m 以下又は作業半径 5 m を超え 18 m 以下の場合 ・袋詰玉石用袋材が 3t 用の場合	K3 ー		労務	R1 普通作業員		R2 土木一般世話役		R3 運転手(特殊)		R4 特殊作業員		材料	Z1 袋詰玉石用袋材 2t 用(長期性能型)	袋詰玉石用袋材規格が 2t 用の場合	Z1 袋詰玉石用袋材 3t 用(長期性能型)	袋詰玉石用袋材規格が 3t 用の場合	Z2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z3 中詰材 割栗石 150~200mm	中詰材を購入する場合	Z4 ー		市場単価	S ー		<p>現行どおり</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <caption>表3.2 袋詰玉石 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m³(平積 0.6 m³) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 25t 吊</td> <td>・賃料 ・袋詰玉石用袋材が 2t 用かつ掘付深さ 4m を超え 9 m 以下又は作業半径 5 m を超え 18 m 以下の場合 ・袋詰玉石用袋材が 3t 用の場合</td> </tr> <tr> <td>K3 ー</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手(特殊) 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>Z1 袋詰玉石用袋材 2t 用(長期性能型)</td> <td>袋詰玉石用袋材規格が 2t 用の場合</td> </tr> <tr> <td>Z1 袋詰玉石用袋材 3t 用(長期性能型)</td> <td>袋詰玉石用袋材規格が 3t 用の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 中詰材 割栗石 150~200mm</td> <td>中詰材を購入する場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 ー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S ー</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6 m ³) 吊能力 2.9t	賃料	K2 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・袋詰玉石用袋材が 2t 用かつ掘付深さ 4m を超え 9 m 以下又は作業半径 5 m を超え 18 m 以下の場合 ・袋詰玉石用袋材が 3t 用の場合	K3 ー		労務	R1 普通作業員		R2 土木一般世話役		R3 運転手(特殊) 特殊作業員		R4 特殊作業員運転手(特殊)		材料	Z1 袋詰玉石用袋材 2t 用(長期性能型)	袋詰玉石用袋材規格が 2t 用の場合	Z1 袋詰玉石用袋材 3t 用(長期性能型)	袋詰玉石用袋材規格が 3t 用の場合	Z2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z3 中詰材 割栗石 150~200mm	中詰材を購入する場合	Z4 ー		市場単価	S ー		記載の変更
項目	代表機材規格	備考																																																																			
機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6 m ³) 吊能力 2.9t	賃料																																																																			
	K2 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・袋詰玉石用袋材が 2t 用かつ掘付深さ 4m を超え 9 m 以下又は作業半径 5 m を超え 18 m 以下の場合 ・袋詰玉石用袋材が 3t 用の場合																																																																			
	K3 ー																																																																				
労務	R1 普通作業員																																																																				
	R2 土木一般世話役																																																																				
	R3 運転手(特殊)																																																																				
	R4 特殊作業員																																																																				
材料	Z1 袋詰玉石用袋材 2t 用(長期性能型)	袋詰玉石用袋材規格が 2t 用の場合																																																																			
	Z1 袋詰玉石用袋材 3t 用(長期性能型)	袋詰玉石用袋材規格が 3t 用の場合																																																																			
	Z2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																				
	Z3 中詰材 割栗石 150~200mm	中詰材を購入する場合																																																																			
	Z4 ー																																																																				
市場単価	S ー																																																																				
項目	代表機材規格	備考																																																																			
機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6 m ³) 吊能力 2.9t	賃料																																																																			
	K2 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・袋詰玉石用袋材が 2t 用かつ掘付深さ 4m を超え 9 m 以下又は作業半径 5 m を超え 18 m 以下の場合 ・袋詰玉石用袋材が 3t 用の場合																																																																			
	K3 ー																																																																				
労務	R1 普通作業員																																																																				
	R2 土木一般世話役																																																																				
	R3 運転手(特殊) 特殊作業員																																																																				
	R4 特殊作業員運転手(特殊)																																																																				
材料	Z1 袋詰玉石用袋材 2t 用(長期性能型)	袋詰玉石用袋材規格が 2t 用の場合																																																																			
	Z1 袋詰玉石用袋材 3t 用(長期性能型)	袋詰玉石用袋材規格が 3t 用の場合																																																																			
	Z2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																				
	Z3 中詰材 割栗石 150~200mm	中詰材を購入する場合																																																																			
	Z4 ー																																																																				
市場単価	S ー																																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																		

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																									
	現 行	改 正																																																																																										
	<p style="text-align: center;">表3.1 掘削(光ケーブル配管) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)〕山積 0.28m³(平積 0.2m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)〕山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	運転手(特殊)		R 2	特殊作業員		R 3	普通作業員		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—			<p style="text-align: center;">表3.1 掘削(光ケーブル配管) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)〕山積 0.28m³(平積 0.2m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>普通作業員 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)〕山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	運転手(特殊)		R 2	特殊作業員 普通作業員		R 3	普通作業員 特殊作業員		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">記載の変更</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)〕山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)	賃料																																																																																									
	K 2	—																																																																																										
	K 3	—																																																																																										
労務	R 1	運転手(特殊)																																																																																										
	R 2	特殊作業員																																																																																										
	R 3	普通作業員																																																																																										
	R 4	—																																																																																										
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																										
	Z 2	—																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)〕山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)	賃料																																																																																									
	K 2	—																																																																																										
	K 3	—																																																																																										
労務	R 1	運転手(特殊)																																																																																										
	R 2	特殊作業員 普通作業員																																																																																										
	R 3	普通作業員 特殊作業員																																																																																										
	R 4	—																																																																																										
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																										
	Z 2	—																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
	<p>3-2 埋戻し締固め</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>埋戻し締固めの積算条件区分はない。</p> <p>積算単位は、m³とする。</p> <p>(注) 1. 埋戻し締固め、埋設表示シートの設置(材料費を除く)、締固め機械の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。ただし、敷砂、保護砂の材料費は含まない。</p> <p>2. 埋設表示シートの材料費は別途計上する。</p> <p>3. 埋戻し締固めの土量は締固め後の土量とする。</p> <p>4. 敷砂及び保護砂に購入土を使用する場合の材料費は別途計上する。</p> <p>5. 水締め作業が必要な場合は別途計上する。</p>	<p>現行どおり</p>																																																																																										
III-2-⑧-2																																																																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																																																																									

改正理由	一部改正		改正	備考																																																																																							
	現	行	現 行																																																																																								
<p>3-6 ハンドホール</p> <p>(1) 条件区分 ハンドホールの積算条件区分はない。 積算単位は、個とする。 (注)ハンドホールの設置、ベルマウス等の取付け(材料費を含む)、蓋の設置等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 ハンドホール 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排気ガス対策型(第3次基準値)】山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>ハンドホール 600×600×600mm R2K-60 蓋付</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)【標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排気ガス対策型(第3次基準値)】山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	運転手(特殊)		R 3	特殊作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	ハンドホール 600×600×600mm R2K-60 蓋付		Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>現行どおり</p>	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 ハンドホール 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排気ガス対策型(第3次基準値)】山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>ハンドホール 600×600×600mm R2K-60 蓋付</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)【標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排気ガス対策型(第3次基準値)】山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	運転手(特殊)		R 3	特殊作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	ハンドホール 600×600×600mm R2K-60 蓋付		Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>記載の変更</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)【標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排気ガス対策型(第3次基準値)】山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t																																																																																									
	K 2	—																																																																																									
	K 3	—																																																																																									
労務	R 1	普通作業員																																																																																									
	R 2	運転手(特殊)																																																																																									
	R 3	特殊作業員																																																																																									
	R 4	土木一般世話役																																																																																									
材料	Z 1	ハンドホール 600×600×600mm R2K-60 蓋付																																																																																									
	Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																									
	Z 3	—																																																																																									
	Z 4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)【標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排気ガス対策型(第3次基準値)】山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	賃料																																																																																								
	K 2	—																																																																																									
	K 3	—																																																																																									
労務	R 1	普通作業員																																																																																									
	R 2	運転手(特殊)																																																																																									
	R 3	特殊作業員																																																																																									
	R 4	土木一般世話役																																																																																									
材料	Z 1	ハンドホール 600×600×600mm R2K-60 蓋付																																																																																									
	Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																									
	Z 3	—																																																																																									
	Z 4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
積算上の注意事項				(控え頁) 2/2																																																																																							

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																											
	<p>現 行</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 掘削(砂防) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 掘削(砂防) 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>施工数量</th> <th>障害の有無</th> <th>掘削範囲</th> <th>火薬使用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">土砂</td> <td rowspan="2">3,000m3未満</td> <td>無し</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3,000m3以上</td> <td>無し</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>小規模</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">岩塊・玉石</td> <td rowspan="2">3,000m3未満</td> <td>無し</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3,000m3以上</td> <td>無し</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">軟岩</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>機械走行面より5m以内</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="2">機械走行面より5m超</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">硬岩</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>機械走行面より5m以内</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="2">機械走行面より5m超</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">転石</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>機械走行面より5m以内</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="2">機械走行面より5m超</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、砂防工事における土砂及び岩塊・玉石の掘削・横込、軟岩、硬岩及び転石の掘削等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 土量は、地山上量とする。 3. 施工数量は「小規模」を除き、1工事当りの数量とする。 4. 「小規模」は1箇所当りの施工数量が100m3未満または平均施工幅2m未満とする。なお、1箇所当りとは目的物(構造物・掘削等)1箇所当りのことであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を1箇所とする。 5. 障害の有無 ①無し: 作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合。なお標準内とは、作業範囲が機械走行面より上下に5m以内とする。 ②有り: 作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合 6. 掘削範囲 ①機械走行面より5m以内: 作業範囲が機械走行面より上下に5m以内の場合は、機械による岩石掘削。 ②機械走行面より5m超: 作業範囲が機械走行面より上下に5mを超える場合は、火薬又は人力による岩石掘削。 7. 火薬使用は作業範囲が機械走行面より上下に5mを超える場合で、火薬が使用可能か否かにより区分する。</p> <p>III-3-①-5</p>	土質	施工数量	障害の有無	掘削範囲	火薬使用	土砂	3,000m3未満	無し	—	—	有り	—	—	3,000m3以上	無し	—	—	有り	—	—	小規模	—	—	—	岩塊・玉石	3,000m3未満	無し	—	—	有り	—	—	3,000m3以上	無し	—	—	有り	—	—	軟岩	—	—	機械走行面より5m以内	—	—	—	機械走行面より5m超	可	—	—	不可	硬岩	—	—	機械走行面より5m以内	—	—	—	機械走行面より5m超	可	—	—	不可	転石	—	—	機械走行面より5m以内	—	—	—	機械走行面より5m超	可	—	—	不可	<p>改 正 現 行</p> <p>現行どおり</p> <p>3. 施工数量は「小規模」を除き、1工事当りの数量(砂防土砂仮締切における取扱い土量を除く)とする。</p> <p>現行どおり</p>	<p>備 考</p> <p>記載の変更</p>
土質	施工数量	障害の有無	掘削範囲	火薬使用																																																																										
土砂	3,000m3未満	無し	—	—																																																																										
		有り	—	—																																																																										
	3,000m3以上	無し	—	—																																																																										
		有り	—	—																																																																										
小規模	—	—	—																																																																											
岩塊・玉石	3,000m3未満	無し	—	—																																																																										
		有り	—	—																																																																										
	3,000m3以上	無し	—	—																																																																										
		有り	—	—																																																																										
軟岩	—	—	機械走行面より5m以内	—																																																																										
	—	—	機械走行面より5m超	可																																																																										
	—	—		不可																																																																										
硬岩	—	—	機械走行面より5m以内	—																																																																										
	—	—	機械走行面より5m超	可																																																																										
	—	—		不可																																																																										
転石	—	—	機械走行面より5m以内	—																																																																										
	—	—	機械走行面より5m超	可																																																																										
	—	—		不可																																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																											

工 種	土工(砂防) (ICT)
-----	--------------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																	
現	行	改 正	備 考																	
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 掘削(砂防)(ICT)※[ICT建機使用割合100%]</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 掘削(砂防)(ICT)※[ICT建機使用割合100%] 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>施工数量</th> <th>障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">土砂</td> <td rowspan="2">3,000m3未満</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3,000m3以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">岩塊・玉石</td> <td rowspan="2">3,000m3未満</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3,000m3以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、砂防工事における土砂及び岩塊・玉石の掘削・積込等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含み、クレーン作業は含まない。</p> <p>2. 上表は、同一の施工箇所において、3D-MG又はMCバックホウ(以下「ICT建機」という。)のみで施工する(ICT建機使用割合100%)場合である。</p> <p>なお、施工数量は、1工事当りの全体掘削土量により判定する。また、該当する施工箇所におけるICT建機による施工分と通常建機による施工分を合計した掘削土量をその箇所の掘削土量とし、これを合計したものを全体掘削土量とする。</p> <p>3. 同一の施工箇所においてICT建機と通常建機(ICT建機を使用しない通常機種のバックホウ)を組合せて施工する(ICT建機使用割合100%以外)場合は、該当する箇所における掘削土量をICT建機使用割合に応じてICT建機による施工分と通常建機による施工分に分割し、ICT建機による施工分に上表を適用する。また、通常建機による施工分は、「第Ⅲ編第3章砂防工①土工①-1 土工 3-1 掘削(砂防)」により別途計上する。</p> <p>4. 土量は、地山土量とする。</p> <p>5. 障害の有無</p> <p>①無し:作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合。なお標準内とは、作業範囲が機械走行面より上下に5m以内とする。</p> <p>②有り:作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合</p> <p>6. ICT建機使用割合は、上記(注)2.又は3.の1工事当りの全体掘削土量に対する1工事当りのICT建機による掘削土量の割合である。</p> <p style="text-align: center;">Ⅲ-3-①-13</p>		土質	施工数量	障害の有無	土砂	3,000m3未満	無し	有り	3,000m3以上	無し	有り	岩塊・玉石	3,000m3未満	無し	有り	3,000m3以上	無し	有り	<p>現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は、砂防工事における土砂及び岩塊・玉石の掘削・積込等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含み、クレーン作業は含まない。</p> <p>2. 上表は、同一の施工箇所において、3D-MG又はMCバックホウ(以下「ICT建機」という。)のみで施工する(ICT建機使用割合100%)場合である。</p> <p>なお、施工数量は、1工事当りの全体掘削土量(砂防土砂仮締切における取扱い土量を除く)により判定する。また、該当する施工箇所におけるICT建機による施工分と通常建機による施工分を合計した掘削土量をその箇所の掘削土量とし、これを合計したものを全体掘削土量とする。</p> <p>3. 同一の施工箇所においてICT建機と通常建機(ICT建機を使用しない通常機種のバックホウ)を組合せて施工する(ICT建機使用割合100%以外)場合は、該当する箇所における掘削土量をICT建機使用割合に応じてICT建機による施工分と通常建機による施工分に分割し、ICT建機による施工分に上表を適用する。また、通常建機による施工分は、「第Ⅲ編第3章砂防工①土工①-1 土工 3-1 掘削(砂防)」により別途計上する。</p> <p>4. 土量は、地山土量とする。</p> <p>5. 障害の有無</p> <p>①無し:作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合。なお標準内とは、作業範囲が機械走行面より上下に5m以内とする。</p> <p>②有り:作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合</p> <p>6. ICT建機使用割合は、上記(注)2.又は3.の1工事当りの全体掘削土量(砂防土砂仮締切における取扱い土量を除く)に対する1工事当りのICT建機による掘削土量の割合である。</p>	<p>記載の変更</p>
土質	施工数量	障害の有無																		
土砂	3,000m3未満	無し																		
		有り																		
	3,000m3以上	無し																		
		有り																		
岩塊・玉石	3,000m3未満	無し																		
		有り																		
	3,000m3以上	無し																		
		有り																		
積算上の注意事項			(控え頁) 1/4																	

工 種	土工(砂防) (ICT)
-----	--------------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考
現	行	改 正	備 考
<p>5-4 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仮設費率補正係数 : 1.2 ・現場管理費率補正係数 : 1.1 <p style="text-align: center;">※小数点第3位四捨五入2位止め</p> <p>なお、土工(砂防)(ICT)において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の(1)～(5)又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測とする。なお、その他の出来形管理の経費は、共通仮設費及び現場管理費率に含まれる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理 (2) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 (3) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 (4) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 (5) 上記(1)～(4)に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理 	<p>5-4 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用</p> <p>(1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通仮設費率補正係数 : 1.2 ・現場管理費率補正係数 : 1.1 <p style="text-align: center;">※小数点第3位四捨五入2位止め</p> <p>なお、土工(砂防)(ICT)において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の(1)～(5)又は完成検査直前の工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測とする。なお、その他の出来形管理の経費は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➡(1) 空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理 ➡(2) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 ➡(3) 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 ➡(4) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 ➡(5) 上記(1)～(4)に類似する、その他の3次元計測技術を用いた出来形管理 <p>(2) 費用計上にあたっての留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が(1)で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。 2) 受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。 	<p>記載の変更</p>	
III-3-①-15			
積算上の注意事項			(控え頁) 2/4

工 種	土工(砂防) (ICT)
-----	--------------

改正理由	一部改正	改正 — 現行																				
現	行	改	正																			
<p>6. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 掘削(砂防)(ICT) ※ [ICT建機使用割合100%]</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB330100</td> <td>施工単位</td> <td>m3</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> </tr> <tr> <td>土質</td> <td>施工数量</td> <td>障害の有無</td> </tr> <tr> <td>①土砂 ②岩塊・玉石</td> <td>①3,000m3未満 ②3,000m3以上</td> <td>①無し ②有り</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表の土量は、地山土量である。 2. 施工数量は、1工事当りの全体掘削土量により判定する。なお、同一の施工箇所においてICT建機と通常建機を組合せて施工する場合は、両者を合計した掘削土量をその箇所の掘削土量とし、これを合計したものを全体掘削土量とする。</p> <p>(2) 掘削(砂防)(ICT) 保守点検 「第I編第2章②間接工事費 2-7 技術管理費」(WB010480) により計上すること。</p> <p>(3) システム初期費 (ICT) 「第I編第2章②間接工事費 2-7 技術管理費」(WB010510) により計上すること。</p> <p>(4) 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 (ICT) 「第I編第2章②間接工事費 2-7 技術管理費」(WB010610) により計上すること。</p> <p style="text-align: center;">III-3-①-16</p>		パッケージコード	CB330100	施工単位	m3	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	土質	施工数量	障害の有無	①土砂 ②岩塊・玉石	①3,000m3未満 ②3,000m3以上	①無し ②有り	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表の土量は、地山土量である。 2. 施工数量は、1工事当りの全体掘削土量(砂防土砂仮締切における取扱い土量を除く)により判定する。なお、同一の施工箇所においてICT建機と通常建機を組合せて施工する場合は、両者を合計した掘削土量をその箇所の掘削土量とし、これを合計したものを全体掘削土量とする。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		備 考
パッケージコード	CB330100	施工単位	m3																			
施工区分	入 力 条 件																					
各 種	J 1	J 2	J 3																			
	土質	施工数量	障害の有無																			
	①土砂 ②岩塊・玉石	①3,000m3未満 ②3,000m3以上	①無し ②有り																			
積算上の注意事項		記載の変更																				
		(控え頁)																				
		3/4																				